

# 参院選における有権者の意識

～「参院選後の政治意識・2016」調査から(1)～

世論調査部 河野 啓 / 荒牧 央

▷第24回参議院選挙では、自民党が議席を伸ばし、参議院でもいわゆる改憲勢力が3分の2を超えた。選挙後に実施した世論調査の結果から、選挙結果の背景などを分析する。▷与党が憲法改正を大きな争点とせず、消費増税が再延期されたこともあり、安倍政権の経済政策、アベノミクスの評価がメインの争点になったと考えられる。比例で自民党に投票した人は、「政権担当能力」「自民党中心の政権の業績」を重視して投票した人が多かった。▷「18歳選挙権」については、評価する人が多数だが、「合区」については、1人区で「不公平」が「仕方がない」を上回った。▷政治意識の面では、国の政治に不満な人は7割と多いものの、2009年からの調査で最も少なくなり、政治に大きな変化を望む人も減少した。一方、政治に関心がある人や政治についてまわりと話し合うことがある人は減少傾向にあり、政治への関心の低下がみられる。▷政党支持は自民党が2012年の政権交代以降、他の政党を引き離しており、自民党の1党優位の状態が続いている。安倍内閣への信頼度や、経済政策に対する評価もややかじりみられるものの、高い水準を保っている。▷今後の政界については、2大政党制が望ましいという人が6割と多数を占めるが、政界再編を望むかどうかについては、「どちらともいえない」と態度を明確にしない人が増え、過半数になった。

## はじめに

2016年7月10日投票の第24回参議院選挙で自民・公明の連立与党は議席を伸ばして勝利し、いわゆる改憲勢力は衆議院に続いて参議院でも3分の2に達した。これにより憲法改正が現実味を帯び出してきた。

一方、今回の選挙は選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ注目されたにもかかわらず、戦後4番目に低い投票率にとどまり、政治離れに歯止めをかけることはできなかった。また、今回の参議院選挙は、およそ3年半にわたる安倍政権の評価も問われた。

参院選の前には、5月末にG7伊勢志摩サミット、直前にはイギリスで欧州連合離脱の是非を問う国民投票が実施され、離脱が過半数という結果となった。また、7月14日公示の東京都知事選挙は過去最多の21人が立候補し、小池氏と増田氏と鳥越氏の三つ巴の戦いなど、

公示前から連日メディアで取り上げられ大きな注目を集めていた。

参院選のおよそ2か月後に国民の政治意識を探る調査を実施した。調査の概要は以下のとおりである。

調査時期：2016年9月10日(土)

～9月19日(月)

調査方法：配付回収法

調査対象：全国18歳以上の国民

調査相手：住民基本台帳から

層化無作為2段抽出、

2,400人(12人×200地点)

調査有効数(率)：1,732人(72.2%)

なお、9月1日から10月中旬にかけて、18・19歳の新有権者と全有権者を対象にこの調査と同じ質問で、郵送法による調査を実施した。これについては、別号で新有権者の意識として報告する。

NHKでは、2009年の衆院選と2010年の

参院選，2012年の衆院選，2013年の参院選の後にも同様の調査<sup>1)</sup>を行っており，比較可能な質問は適宜活用して分析した。なお，単純集計結果とサンプル構成，それに過去の調査の概要および今回と共通の質問の結果を22～43ページに掲載している。

本稿は，▷なぜ自民党は大勝したのか，▷憲法改正問題や消費増税問題を有権者はどうみていたか，▷今回初めて実施された18歳選挙権や1人区の合区はどう受け止められたか，▷政党の評価はどう変わったのか，▷どのような政党のあり方が望まれているのか，といった問題意識を持ち，以下の章立てで構成した。

はじめに

1. 選挙結果について
2. 政治課題について
3. 選挙制度改革について
4. 政治的関心・政治意識
5. 政党・政権に対する評価
6. 今後の政界について

おわりに

(はじめに～3を河野，4～おわりにを荒牧が担当)

なお本稿では，比例投票政党別や支持政党別で分析しているが，それぞれ回答者数が100人未満の政党については分析の対象とはしていない。

## 1. 選挙結果について

今回の選挙の投票率は，前回2013年参院選の52.61%より上がったものの，54.70%で戦後4番目の低さとなった。また，自民党は，解散時の50議席から6議席増やし56議席となり，公明党の14議席と合わせて，改選過半数の61議席を大きく上回った。さらに，憲法

改正に前向きな，おおさか維新の会や日本のこころを大切にする党の非改選の議員などを合わせ，いわゆる改憲勢力は衆院選に続いて参院選でも，憲法改正案を発議するのに必要な3分の2を超えた。一方，民進党，共産党，社民党，生活の党の野党4党は，全国に32ある1人区で統一候補を擁立して選挙戦に臨み，11選挙区で議席を獲得した。

まず，今回の選挙で，投票に行った人と，行かなかった人のそれぞれの理由をみてみたい。

### (1) 投票に行った理由，行かなかった理由

参院選で投票に行った最も大きな理由を尋ねたところ，全体では「選挙に自分の一票を生かしたかったから」34%，「投票には行くことにしているから」33%，「投票したい候補者や政党があったから」21%となった(図1)。「今回の選挙に興味や関心があったから」は8%，「18歳，19歳が選挙権を得たのに触発されたから」は1%と少なかった。

図1 投票に行った理由  
(投票に行った人，全体・年層別)

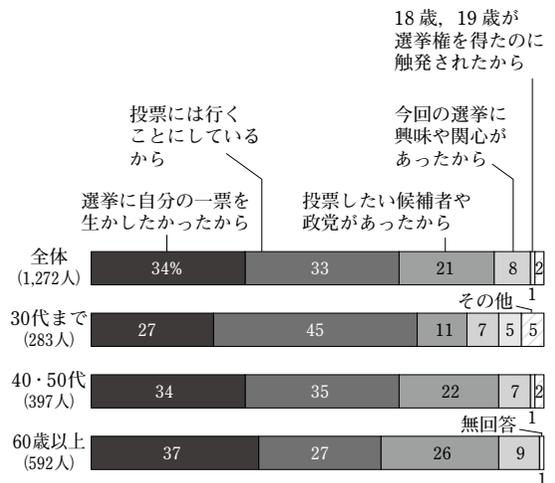
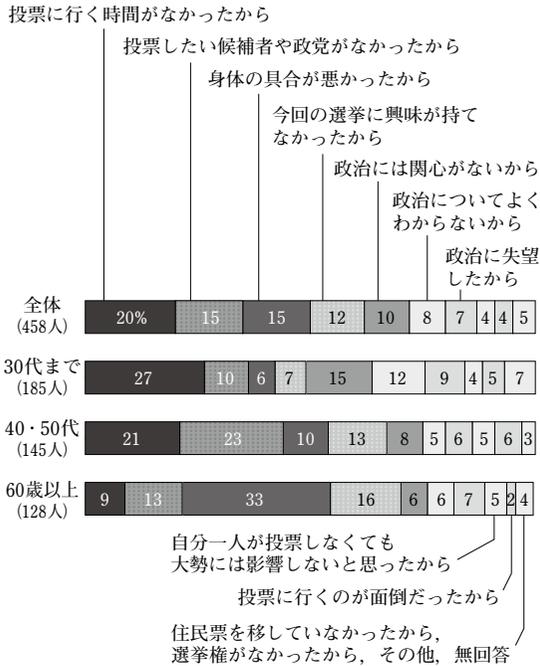


図2 投票に行かなかった理由  
(投票に行かなかった人、全体・年層別)



年層別にみると、30代までは「投票には行くことにしているから」が45%と最も多かったが、年層が高くなると減少し、逆に「選挙に自分の一票を生かしたかったから」「投票したい候補者や政党があったから」と積極的な理由が増加している。

投票に行かなかった最も大きな理由を尋ねたところ、全体では「投票に行く時間がなかったから」が20%、「投票したい候補者や政党がなかったから」が15%、「身体の具合が悪かったから」が15%、「今回の選挙に興味を持てなかったから」が12%などとなった(図2)。年層ごとに最も多い理由をみると、30代までは「投票に行く時間がなかったから」、40・

50代では「投票したい候補者や政党がなかったから」、60歳以上では「身体の具合が悪かったから」となり、年層により異なる。

投票に行った人<sup>2)</sup>と行かなかった人との意識にはどのような違いがあるのだろうか。表1には、差が大きい回答を掲載している。投票に行かなかった人の回答をみていくと、まず、「自分ひとりぐらい投票しなくても、選挙の結果に大きな影響はない」に『そう思う(「どちらかといえば」を含む)』という人が7割近くで選挙への有効性感覚が低い人が多数となっている。また、選挙への投票姿勢として、「特に必要があると思ったときだけ投票に行く」が38%となる。政治課題では、「財政再建のためであっても、消費税率を上げるのは反対だ」が64%と消費税について厳しい意見が多い。政治話題の頻度については、『(「あまり」+「ほとんど」)ない』

表1 投票に行かなかった人の方が多い回答  
(意識差20%以上から抜粋)

回答	全体	投票の有無・選挙区		行った - 行かなか った
		投票に 行った	投票に 行かなか った	
自分ひとりぐらい投票しなくても、選挙の結果に大きな影響はない 『そう思う(「どちらかといえば」を含む)』	39	29	66	-37
政治のことがよくわからない者は、選挙で投票しない方がいい 『そう思う(「どちらかといえば」を含む)』	29	23	49	-26
投票姿勢 「特に必要があると思ったときだけ投票に行く」	13	4	38	-35
「投票には行かない」	7	0	25	-25
政治への関心-国の政治 『(あまり、まったく)関心がない』	25	17	47	-31
財政再建・消費税率 「財政再建のためであっても、消費税率を上げるのは反対だ」	49	43	64	-21
政治話題の頻度 『(あまり、ほとんど)ない』	53	46	73	-27
政治情報への接触頻度-新聞 『(あまり、ほとんど)利用しない』	34	28	52	-24
支持政党(ふだん) 「特に支持している政党はない」	34	24	60	-36
支持政党(いま) 「特に支持している政党はない」	36	25	64	-39

は73%と多数である。支持政党については、「ふだん」「いま」とも、「特に支持している政党はない」が6割と多数を占める。

## (2) 投票で重視したこと

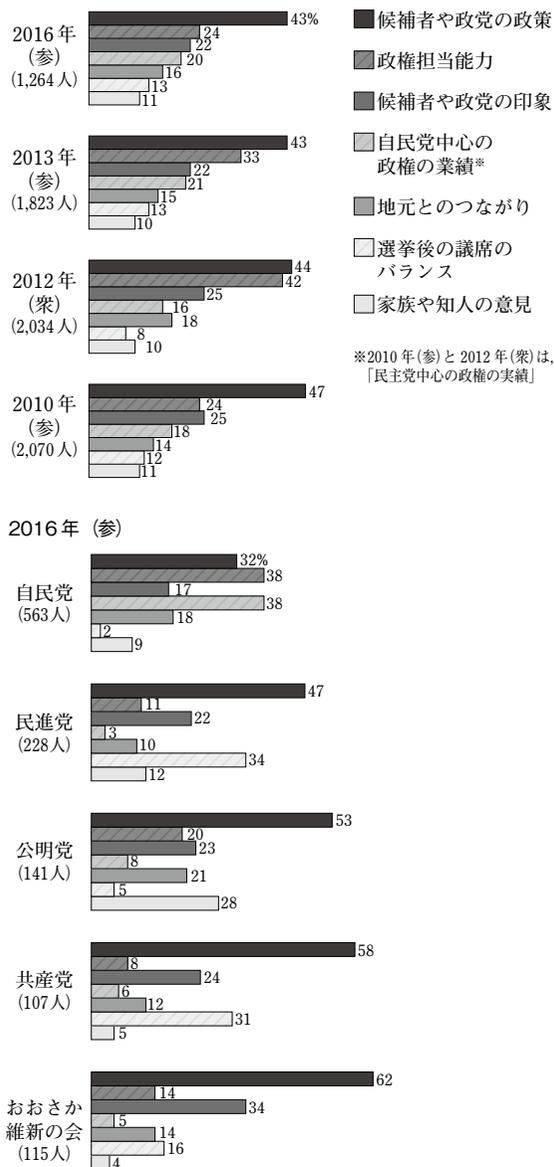
### 自民へは「政権担当能力」「政権の業績」

有権者は何を考慮してこの選挙で投票したのだろうか。まず、今回の参議院選挙の投票で重視したこと（複数回答）についてみると、「候補者や政党の政策」（43%）が最も多く、「政権担当能力」（24%）が続く（図3）。比例代表で投票した政党別にみると、自民党に投票した人では「政権担当能力」「自民党中心の政権の業績」、自民党以外の政党では「候補者や政党の政策」が多い。全体と比べ民進党と共産党では「選挙後の議席のバランス」、公明党では「家族や知人の意見」、おおさか維新の会では「候補者や政党の印象」と回答した人が多かった。

今回の選挙で重視された課題についてみると、全体では「年金や医療などの社会保障政策」（56%）が最も多く、「景気・雇用対策」（46%）が続いていた（表2）。重視した課題を、男女年層別にみると、「社会保障政策」と「政治とカネ」は、年齢が上がるほど多くなる傾向がある。「景気・雇用対策」は男性のどの年層でも、女性では60歳以上で5割程度と高い。女性30代まででは、「子育て支援や少子化対策」が多い。男女とも「社会保障政策」、女性では「子育て支援」に対する世代間の意識差がみられる。

比例代表で投票した政党別に比較すると、どの政党でも「社会保障政策」が最も多い。2番目に多い課題についてみると、自民党では「景気・雇用対策」が50%、民進党では「政治と

図3 投票で重視した点  
(投票した人、全体・2016年比例投票政党別) 複数回答



カネの問題」が44%で「景気・雇用対策」は41%だった。公明党は「景気・雇用対策」が49%、共産党は「政治とカネの問題」が50%、おおさか維新の会は「景気・雇用対策」が47%だが、「政治とカネの問題」も44%と多い。「憲法改正問題」は自民党では13%、公明党

表2 投票で重視した課題（投票した人、全体・男女年齢別・比例投票政党別）複数回答

	全体 (1,264人)	男30代 まで	男40・ 50代	男60歳 以上	女30代 まで	女40・ 50代	女60歳 以上	自民党 (563人)	民進党 (228人)	公明党 (141人)	共産党 (107人)	おおさか維新 の会(115人)
年金や医療などの社会保障政策	56	30	49	69	27	60	72	52	58	67	70	48
景気・雇用対策	46	49	53	47	27	44	47	50	41	49	39	47
財政再建の取り組み	34	31	42	41	18	30	32	37	32	29	30	39
消費税を含む税制改革	33	30	31	38	19	32	37	31	34	31	38	36
政治とカネの問題	31	20	31	44	8	27	38	23	44	26	50	44
子育て支援や少子化対策	28	23	23	27	44	29	27	26	27	31	26	33
外交・安全保障政策	25	23	24	39	11	19	23	27	22	15	30	32
原子力発電などのエネルギー政策	24	13	24	35	14	22	25	15	34	18	44	29
憲法改正問題	22	19	18	29	16	18	22	13	31	12	45	27
震災復興の取り組み	19	9	14	26	10	14	29	19	21	19	24	14
経済格差の問題	17	11	18	21	8	19	17	13	24	9	30	20
国の事業見直しなどの行政改革	16	8	18	24	4	15	16	13	23	9	19	23
地球温暖化対策	15	8	10	22	4	9	25	14	16	15	20	13
奨学金などの教育政策	10	10	8	10	9	14	9	10	8	9	12	14
農業・畜産政策	10	5	8	16	3	7	11	9	12	6	18	6

■は40%以上の回答

では12%と上位10項目には入らず、共産党は45%、民進党は31%で全体と比べ多いものの、選挙の大きな争点とはならなかったようである。また、「消費税を含む税制改革」については、どの政党でも3人に1人と変わらなかった。

自民党に投票した人はその理由として、政権担当能力、および政権の業績、また重視した課題としては、景気・雇用対策を多くの人が挙げており、経済政策（アベノミクス）への評価が背景にあったと考えられる。そこで、暮らし向き、生活上の心配について、どのような変化があるのかをみておく。

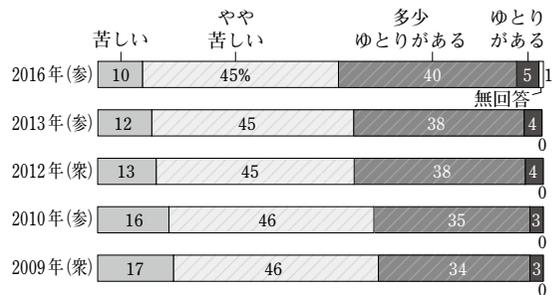
### 生活のゆとり感の増加、

### 「失業やリストラ」不安の減少

まず、今の暮らし向きについては、『ゆとりがある（「多少ゆとりがある」を含む）』という人（45%）よりも『苦しい（「やや苦しい」を含む）』という人（55%）の方が多（図4）。しかし時系列でみると、『苦しい』は減少傾向にあり、『ゆとりがある』<sup>3)</sup>との差は縮まっている。

さらに、日常生活の中で10項目について心配の程度を尋ねたところ、『心配である（「かなり」

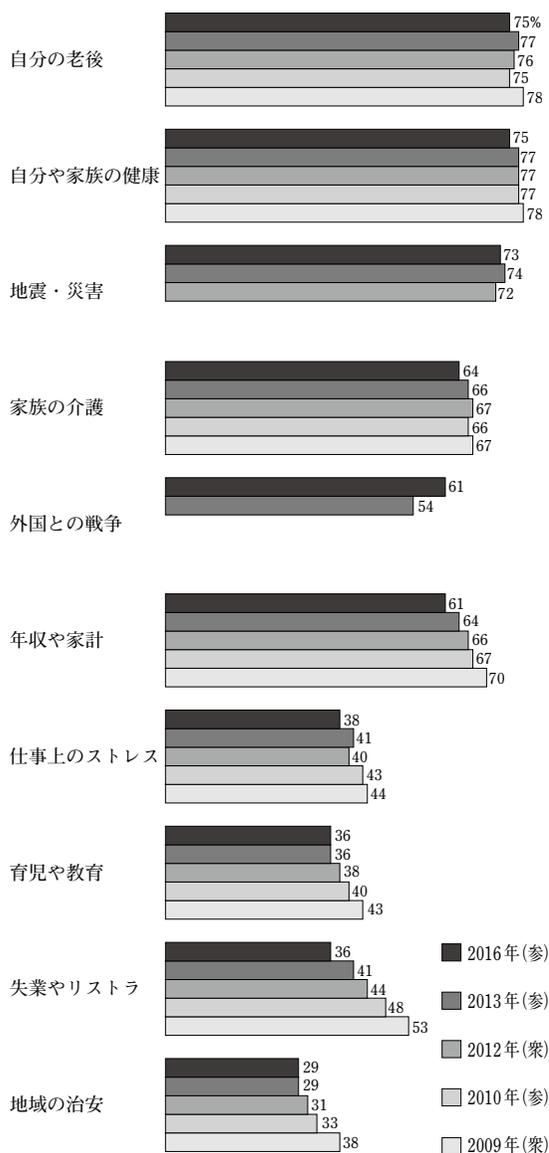
図4 暮らし向き（全体）



+「少し』』と答えた人が多かったのは「自分の老後」(75%)、「自分や家族の健康」(75%)、「地震・災害」(73%) などとなった(図5)。

時系列でみると、2009年(衆)から2016年(参)にかけて、これら上位の項目は変化がないものの、「外国との戦争」が増加した一方、「年収や家計」「仕事上のストレス」「育児や教育」「失業やリストラ」「地域の治安」に減少傾向がみられる。特に「失業やリストラ」の心配の減少が目立つ。暮らし向きで『苦しい』が減っていることと合わせれば、経済的に改善されてきていることがうかがえる。そうした状況によって政権の業績や、景気・雇用対策を重視して自民党への投票につながったのであろう。

図5 生活上の心配  
『心配である（「かなり」＋「少し」）』（全体）



## 2. 政治課題について

次に、自民党が支持を集めた背景を、参院選の各公約に対する有権者の評価という観点からみていく。

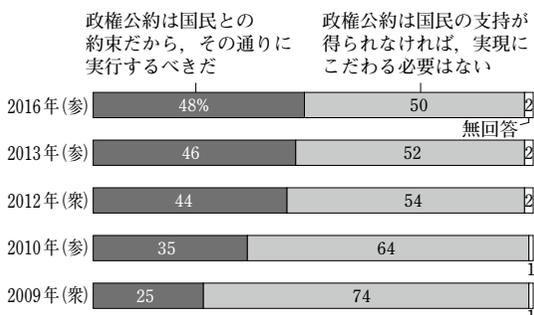
自民党の選挙公約<sup>4)</sup>の中から、今回の調査

で質問した「原子力政策」「憲法改正」「消費税」についてみておきたい。自民党の選挙公約では、●「原発依存度を低減させる」が、原発をベースロード電源と位置付け、「原発の再稼働を進める」、●衆議院・参議院の憲法審査会における議論を進め、各党との連携を図り、あわせて国民の合意形成に努め、憲法改正を目指す、●消費税率10%への引上げは、2019年10月に行う、という方向性が示されている。

### (1) 政権公約「その通りに実行すべきだ」が次第に増加

全体では「公約はその通りに実行すべきだ」が48%で、「実現にこだわる必要はない」(50%)と意見が分かれた。時系列でみると「実行すべきだ」が2009年(衆)の25%から大幅に増えている(図6)。政権公約に対する有権者の見方は厳格になってきている。

図6 政権公約 (全体)



### (2) 原発について「現状を維持すべき」は増加だが、『減らすべき・廃止すべき』は64%

政治課題について、まず、「原子力政策」をみていく。図7は原発を今後どうすべきと思うかを尋ねた結果である。

原発については、全体では「減らすべきだ」

図7 原発をどうすべきか (全体・比例投票政党別)

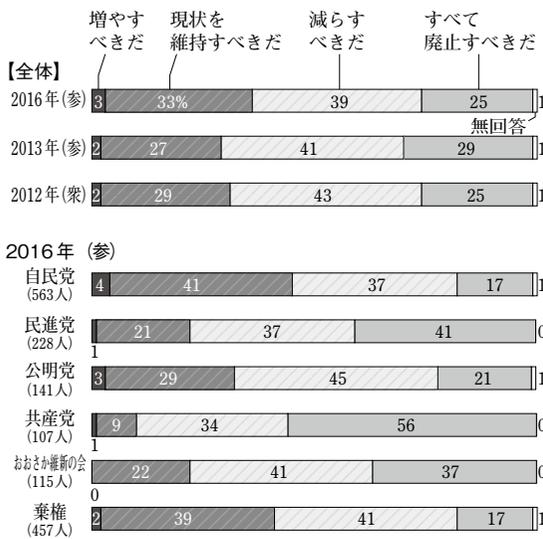
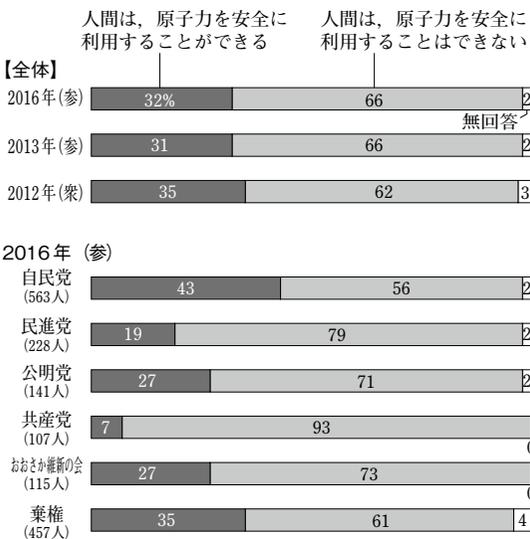


図8 原子力の安全利用 (全体・比例投票政党別)



が39%と一番多い。2013年(参)と比べると、「すべて廃止すべきだ」が減少し、「現状維持」が2013年(参)より増加しているが、「現状維持」と「増やすべき」を合わせても35%<sup>5)</sup>で、「減らすべき」と「すべて廃止すべき」を合わせた64%より少ない。比例代表で投票した政党

別にみると、自民党でも『減らす・すべて廃止』が54%と過半数となっている。与党でも公明党では、『減らす・すべて廃止』は67%とさらに多い。野党も共産党は90%、おおさか維新の会と民進党は78%と多数を占める。

原発政策についての考えの違いは、原子力を安全に利用できると考えるかどうかと関わっている。全体では「人間は、原子力を安全に利用することはできない」が66%で、「利用することができる」32%を大きく上回る(図8)。

比例投票政党別では、「利用することはできない」が自民党で56%なのに対して、民進党では8割近く、共産党では9割を超える。

しかし、投票した人で重視した課題として「原子力発電などのエネルギー政策」を挙げた人は、24%と大きな争点とはならなかった。

### (3) 「憲法改正必要」が「必要ない」を上回るが、政権発足直後より減少

憲法を改正する必要があるかどうかを尋ねたところ、「改正する必要がある」という人は53%で、「改正する必要はない」(46%)を上回った(図9)。2013年(参)と比べると変化はないが、第2次安倍内閣が発足し、憲法改正の機運が盛り上がっていた衆院選直後の2012年(衆)と比較すると、「必要がある」は減少している。

図9 憲法改正の是非 (全体)

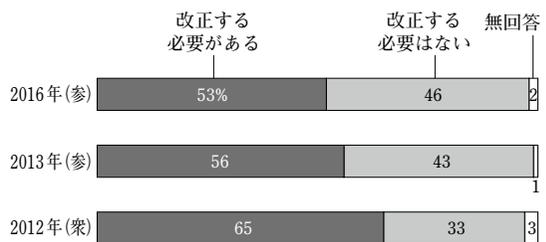


図10 憲法改正の是非  
(2016年(参), 全体・男女・男女年層・比例投票政党別)

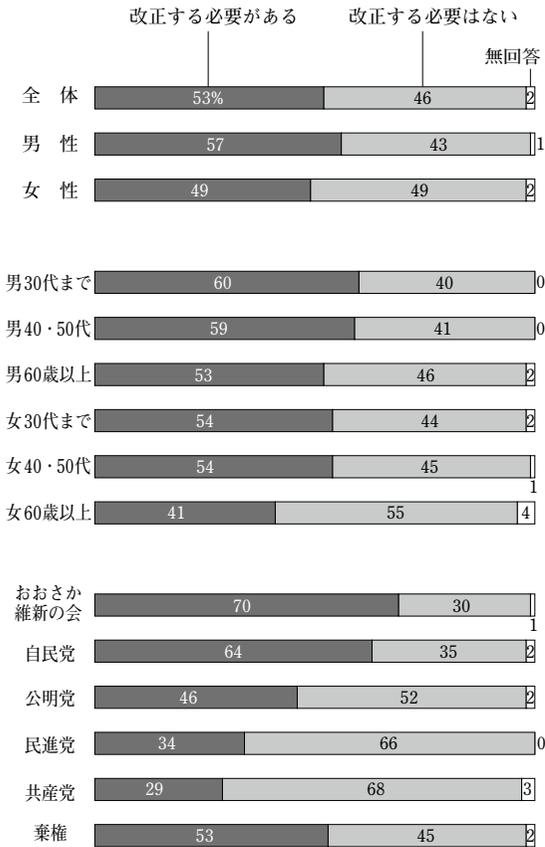
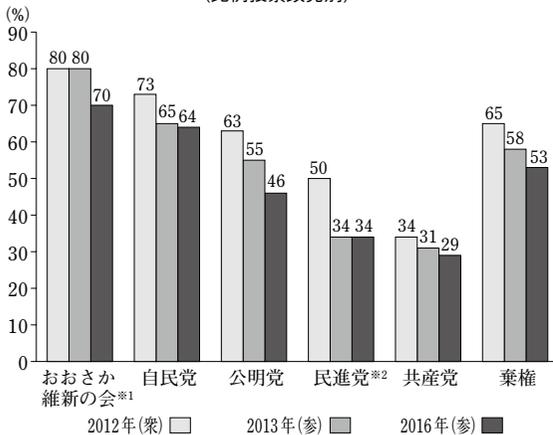


図11 憲法改正の是非「改正する必要がある」  
(比例投票政党別)



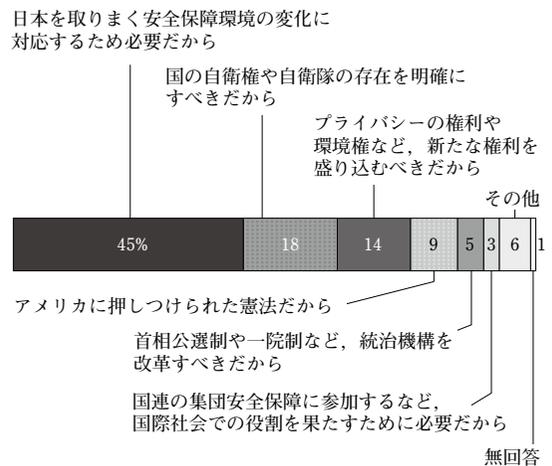
※1 2012年, 2013年は日本維新の会  
※2 2012年, 2013年は民主党

男女別にみると、男性では「必要がある」が「必要はない」を上回るが、女性では意見が分かれている(図10)。男女年層別にみると、女性60歳以上で「必要はない」が半数を超える。

比例投票政党別にみると、おおさか維新の会と自民党で「必要がある」が全体と比べて多くなっている。また、2012年(衆)と比べると、どの政党も全体と同様に「必要がある」は減少傾向にある(図11)。

憲法を「改正する必要がある」という人に、6つの選択肢を挙げてその理由を尋ねたところ、「日本を取りまく安全保障環境の変化に対応するため必要だから」が45%で最も多く、次いで「国の自衛権や自衛隊の存在を明確にすべきだから」18%、「プライバシーの権利や環境権など、新たな権利を盛り込むべきだから」14%となった(図12)。男女年層別にみると、「日本を取りまく安全保障環境の変化に対応するため必要だから」が最も多いのは共通しているが、女性の30代まででは、「プライバシーの権利や環境権など、新たな権利を盛り込むべきだから」が29%と多い。

図12 憲法改正の肯定理由  
(「改正する必要がある」人, 913人)



## 9条改正の是非「改正する必要はない」68%

戦争放棄を定めた9条を改正する必要があるかどうかを尋ねたところ、「改正する必要がある」という人は30%で、「改正する必要はない」(68%)が大幅に上回った(図13)。2013年(参)と比べ「改正する必要はない」はやや減少している。

図13 9条改正の是非(全体)

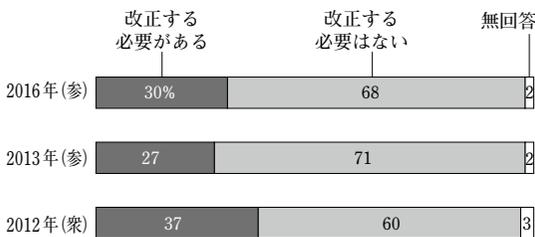
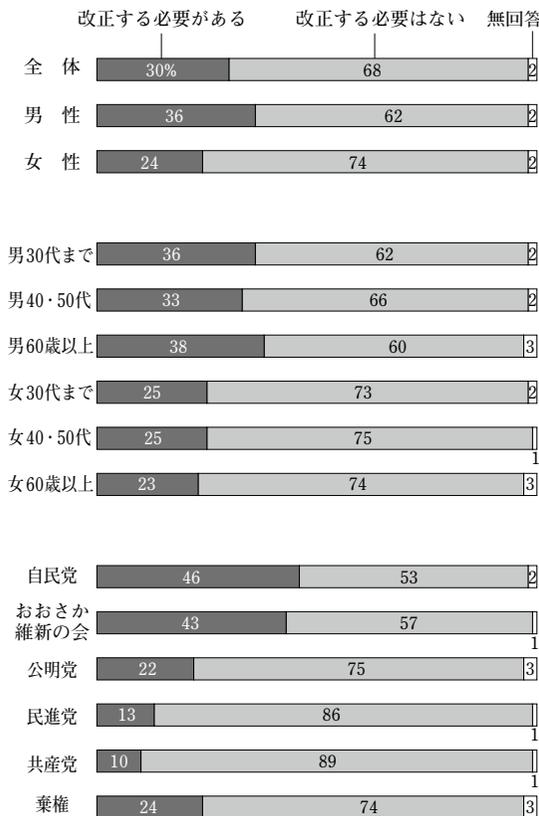


図14 9条改正の是非

(2016年(参), 全体・男女別・男女年層別・比例投票政党別)



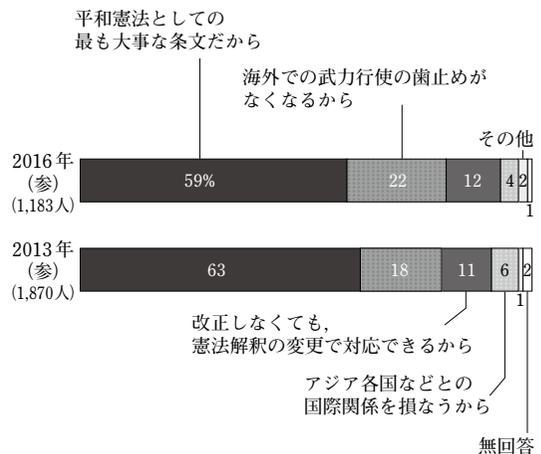
「改正する必要がある」を男女、男女年層別にみると、男性は女性より高く、男性の中でも、「30代まで」と「60歳以上」は全体と比べ高い(図14)。比例投票政党別にみると、自民党とおおさか維新の会で「必要がある」が全体と比べて多い。

一方、9条を「改正する必要はない」という人の理由は、「平和憲法としての最も大事な条文だから」が59%、「海外での武力行使の歯止めがなくなるから」が22%となっている(図15)。2013年(参)と比べ「平和憲法としての最も大事な条文」が63%から59%へ減少し、「海外での武力行使の歯止めがなくなる」が18%から22%へ増加している。男女別では、男女とも「海外での武力行使の歯止めがなくなる」が増加している。

2016年参議院選挙では、改憲勢力が3分の2の議席を獲得できるかという点が注目されたが、改憲を目指す与党のうち自民党は、公約で具体的な改正項目には触れず、一番最後に盛り込み、公明党は公約で触れなかった。

比例で与党に投票している人の中でも、自民

図15 9条改正の否定理由  
 (「改正する必要はない」人)



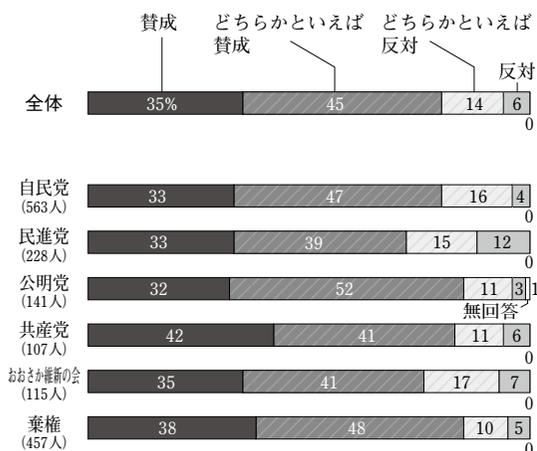
党に投票した人は、憲法を「改正する必要がある」が多数だが、公明党は「必要ない」が半数と憲法改正に対する考え方には、隔たりがある。9条改正については、棄権した人でも多数が「必要ない」としている。憲法改正は今回、大きな争点とならず、争点の見えにくい選挙となった。

#### (4) 消費増税の再延期に『賛成』多数 消費税の増税には『反対』多数

安倍総理大臣は、2017年4月に予定されていた消費税率10%への引き上げを2019年10月まで2年半、再延期した。まず、再延期したことについて、全体で『賛成（「どちらかといえば」を含む）』が80%で、『反対（「どちらかといえば」を含む）』（19%）を大きく上回った（図16）。比例投票政党別にみても、『賛成』が多数である。

消費税の増税については、全体で『反対（「どちらかといえば」を含む）』（56%）が『賛成（「どちらかといえば」を含む）』（43%）を上回った（図17）。2013年（参）と比べ、『反対』が減少し、『賛成』が増加した。比例投票政党別では、

図16 消費増税への賛否－再延期について  
(全体・比例投票政党別)



『賛成』は自民党（55%）で多く、『反対』は共産党（69%）が多い。棄権した人でも『反対』が多い（69%）。

男女年層別にみると、『賛成』は、男性の50代以上で全体より多い（図18）。女性はすべての年層で『反対』が過半数で、特に40代で7割と高い。

図17 消費増税への賛否－増税について  
(全体・比例投票政党別)

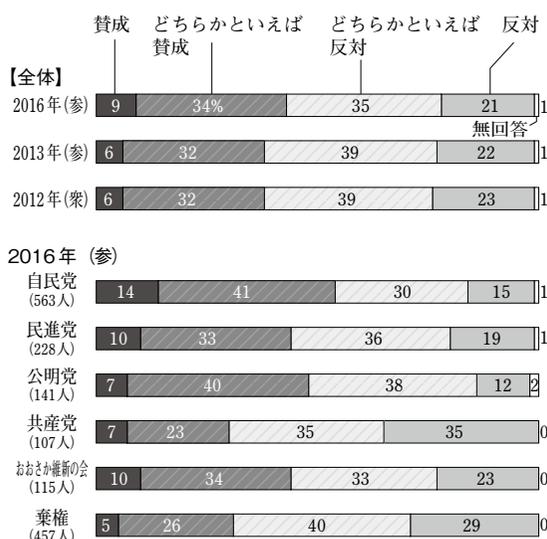
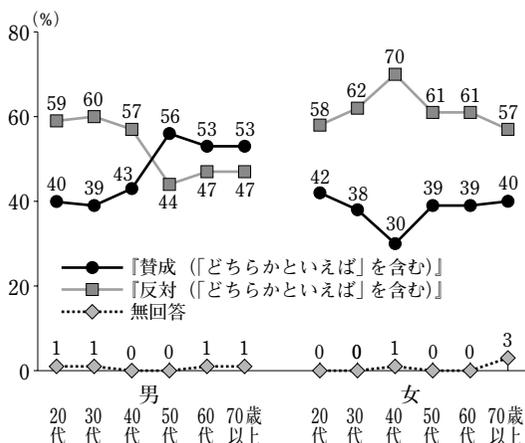


図18 消費増税への賛否－増税について  
(男女年層別)



## 社会保障の財源について

日本は今後、高齢化がさらに進展することが見込まれ、高齢者に対する社会保障を中心として、国民の負担がますます増えると考えられる。社会保障の財源について、どのようにすべきかを複数回答で尋ねたところ、全体では「税制を見直し、課税を強化する」は21%と少なく、「他の事業を見直し、財源を捻出する」が68%と多数となった(図19)。比例投票政党別でも多数を占める。

消費増税が再延期され、政治課題が先送りされたこともあり、安倍政権の経済政策、アベノミクスの評価がメインの争点になったと考えられる。与党側は「成功しつつあるがまだ道半ばである」と主張、野党側は「消費増税のできる経済状況にできなかったのだから失敗である」と主張したが、暮らし向きに『ゆとりがある』と考えている人が増えていることや経済政策を『評価する』人が56%と多いことから(p18)、野党側の説得力が弱かったと考えられる。また、自民党に投票した人で「政権担当能力」を挙げている人が多かったことや、投票に行かなかった人で「支持政党がない」人が多かったこ

とは、野党に対する評価が低かったためと考えられるが、これについては、5章で触れる。

## 3. 選挙制度改革について

今回の選挙から、70年ぶりに選挙権年齢が引き下げられ、18歳以上となった。また、3年前の選挙について最高裁から1票の格差をなくすため、「選挙区を都道府県単位としている選挙制度を改めるべきだ」という指摘を受けて、隣接する2つの県を1つの選挙区とする合区が初めて導入された。これらの選挙制度改革について、有権者はどう受け止めたのだろうか。

### (1) 18歳・19歳選挙権

#### 『良いことだ』と評価する人が多数

18歳、19歳も投票できるようになったことについて、全体では、『(「とても」+「まあ」) 良いことだ』の75%に対し、『(「あまり」+「まったく」) 良いことではない』は24%と少ない。

どの年層でも『良いことだ』と評価する人が多数となっている(図20)。

図19 社会保障の財源について  
(全体) 複数回答

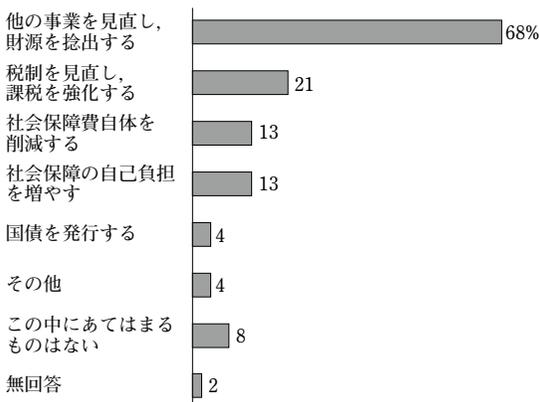
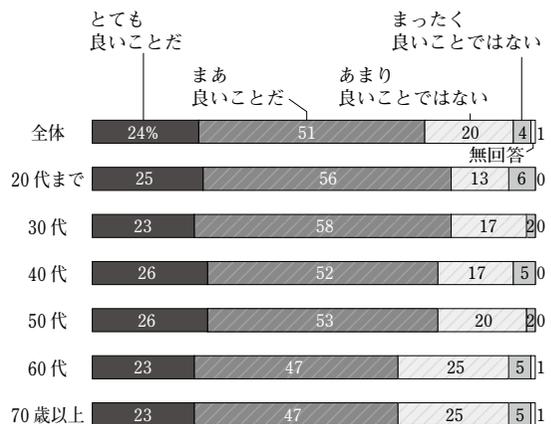


図20 18歳・19歳選挙権への評価  
(全体・年層別)

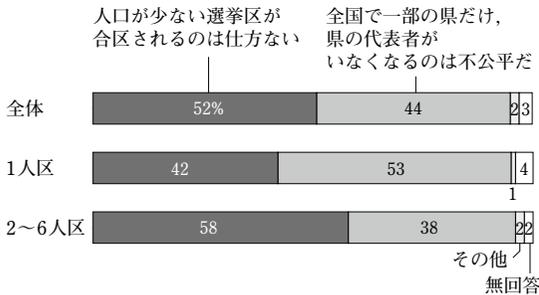


## (2) 「合区」について1人区では「不公平」が「仕方がない」を上回る

今回の参議院選挙では島根県と鳥取県、徳島県と高知県の選挙区がそれぞれ統合された。「合区」について尋ねたところ、「人口が少ない選挙区が合区されるのは仕方ない」52%に対し、「全国で一部の県だけ、県の代表者がいなくなるのは不公平だ」は44%となった(図21)。

選挙区の定員別では、1人区で「不公平」が53%で「仕方ない」の42%を上回る。

図21 「合区」への評価(全体・選挙区定員別)

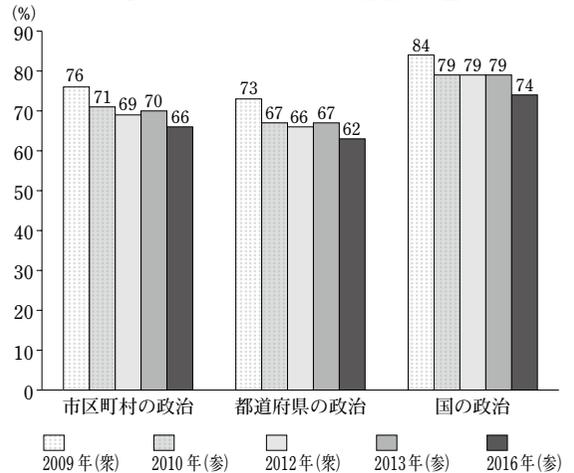


## 4. 政治的関心・政治意識

### (1) 低下する政治への関心

政治にどの程度関心があるかについて、住んでいる市区町村の政治、都道府県の政治、国の政治の3つに分けて尋ねた。「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある』は「国の政治」が最も多く74%である(図22)。「市区町村の政治」は66%、「都道府県の政治」は62%で国よりは少ないが、6割を超える人が関心を持っている。ただし、「市区町村」「都道府県」「国」のいずれについても関心は低下傾向にあり、2009年(衆)から2016年(参)にかけて『関心がある』が減少している。

図22 政治への関心  
『関心がある(「非常に」+「ある程度」)』(全体)

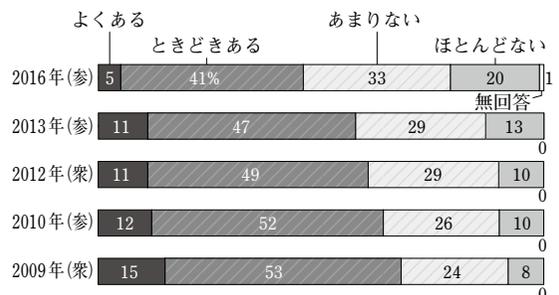


「国の政治」の2009年(衆)と2016年(参)を男女年層別に比較すると、男性では40代と60代で『関心がある』が少なくなり、女性では60代を除く層で少なくなっている。

また、関心だけでなく、政治についての会話も少なくなっている。政治についてまわりの人と『話し合うことがある(「よく」+「ときどき」)』という人は2009年(衆)では68%だったが、調査回ごとに減少し、2016年(参)では46%と半数を切った(図23)。一方で話し合うことが「ほとんどない」という人は、2016年(参)では20%に増えている。

男女年層別に2009年(衆)からの変化をみ

図23 政治話題の頻度(全体)



ると、『話し合うことがある』は男性70歳以上を除くすべての層で減少している。また、いまの支持政党別にみた場合も、自民党支持層、民進党支持層、支持なしのいずれも『話し合うことがある』が減少しており、政治を話題にすることが特定の層に限らず全般的に少なくなっていることを示している。

## (2) 減少した政治への不満

図24は、いまの国の政治に満足しているかを聞いた結果である。全体では『満足(「満足している」+「どちらかといえば、満足している」)』の30%に対し、『不満(「不満だ」+「どちらかといえば、不満だ」)』が70%となっている。『不満』は民主党政権から自民党政権に代わる前の2010年(参)が91%と非常に高く、政権交代後の2012年(衆)には75%へ大きく減少した。今回はさらに減少し、これまでの5回の調査の中で最も低くなった。

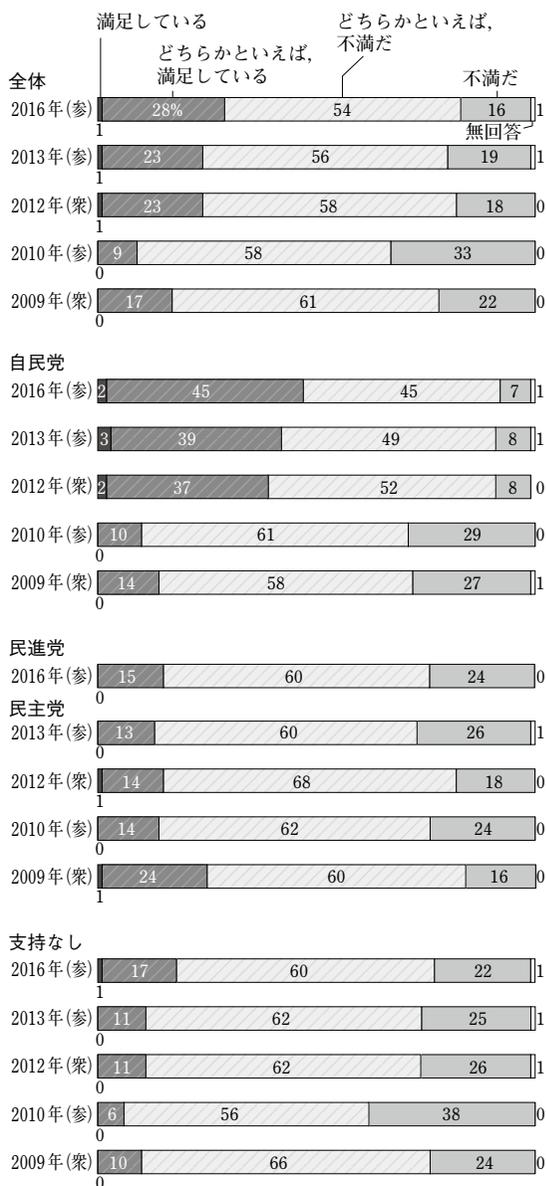
前回の2013年(参)と比較すると、『不満』は民進党支持層では変化がないものの(86%→85%)、自民党支持層(57%→52%)と支持なし(88%→82%)では減少している。

ただし、政治に対する不満感が低くなったといっても、不満を持つ人が依然として多数を占めていることはこれまでと変わっていない。特に民進党支持層と支持なしでは8割以上が国の政治に不満を感じている。

それでは、具体的にどんなことを不満に思っているのか。複数回答で尋ねた結果をみると、「年金や医療などの社会保障政策」が68%で最も多く、次いで「政治とカネの問題」が54%、「消費税を含む税制改革」が47%、「景気・雇用対策」が45%などとなっている(図25)。

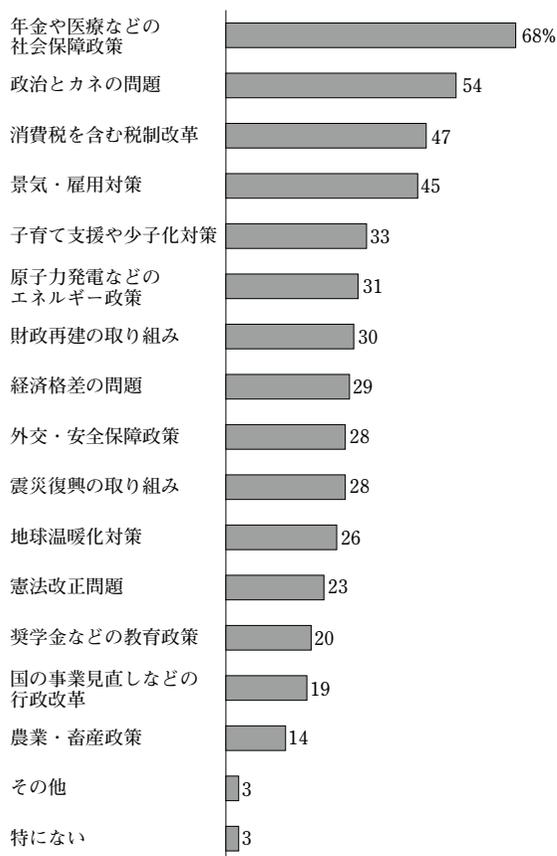
過去の調査と選択肢の数が異なるため単

図24 政治への満足感  
(全体・いまの支持政党別)



純には比較できないが、前回の2013年(参)は「年金や医療などの社会保障政策」が73%、「消費税を含む税制改革」が52%、「原子力発電などのエネルギー政策」と「景気・雇用対策」が50%という結果だった。社会保障政策に対

図 25 政治に対して不満な点  
(全体) 複数回答



する不満が最も多いという点は前回と同じである。

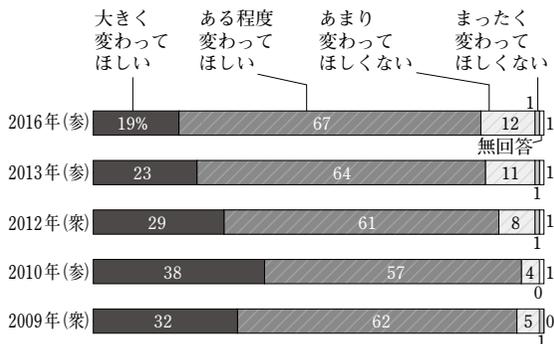
「年金や医療などの社会保障政策」に不満な人は、男女とも年齢が高くなるにしたがって増える傾向があるが、若い層でも少ないわけではなく、男性20代まで(45%)以外はどの年層も半数以上が挙げている。そのほか、「子育て支援や少子化対策」は全体では33%だが、男性30代(43%)、女性20代まで(54%)と30代(67%)で多い。特に女性20代までと30代では半数を超えており、「子育て支援や少子化対策」が政治への不満の中で最も多くなっている。

### (3) 政治に大きな変化を望む人は減少

今の政治が「大きく変わってほしい」という人は19%、「ある程度変わってほしい」は67%で、政治に変化を期待する人は合わせて86%である(図26)。「大きく変わってほしい」は2009年(衆)の32%から2010年(参)は38%に増加し、その後は調査回ごとに減少している。それに代わって2010年(参)以降は「ある程度変わってほしい」が57%から67%に、「あまり変わってほしくない」が4%から12%に増加している。

2010年(参)と2016年(参)を男女年層別に比較すると、「大きく変わってほしい」はすべての層で減少しているが、若い年層での減少が大きく、男性20代までは57%から19%に減少している。

図 26 政治の変化期待 (全体)



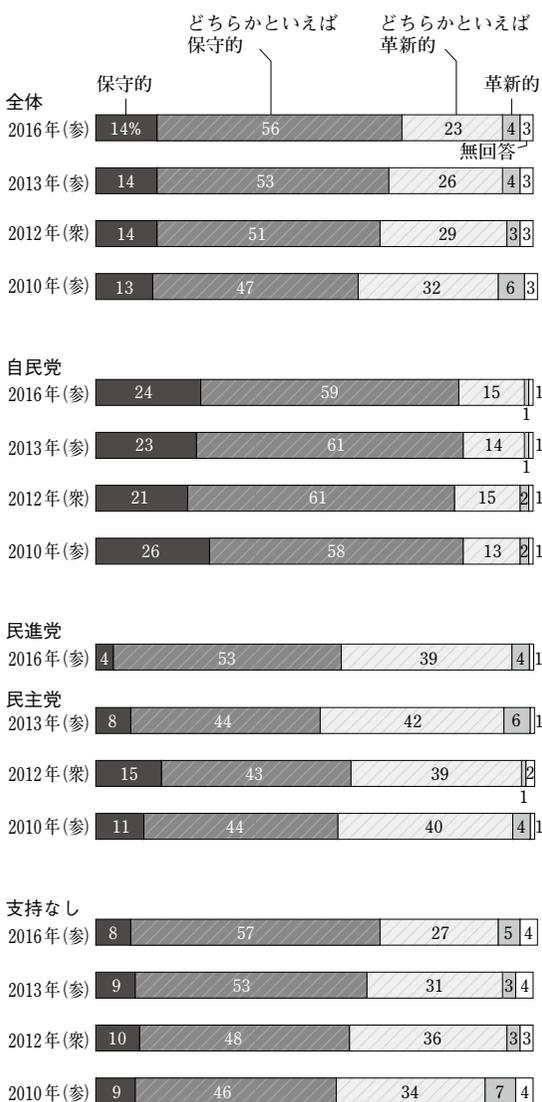
### (4) 自分を保守的と考える人が増加

自分の政治的立場について選択肢の中から選んでもらったところ、「保守的」が14%、「どちらかといえば保守的」が56%で、『保守的』は合わせて71%だった。これに対し、「革新的」は4%、「どちらかといえば革新的」は23%で、『革新的』は合わせて27%となり、『保守的』が

『革新的』を大きく上回っている(図27)。前回の2013年(参)と比べて『保守的』が増加、『革新的』が減少しており、長期的にも『保守的』が増える傾向にある。

自己の政治的立場といまの支持政党との関連をみると、自民党は『保守的』が83%と圧倒的に多く、民進党でも57%が自分を『保守的』と

図27 自己の政治的立場  
(全体・いまの支持政党別)



考えている。支持なしは65%で、民進党よりも多い。支持なしでは、2010年(参)と比べて『保守的』が増加している。

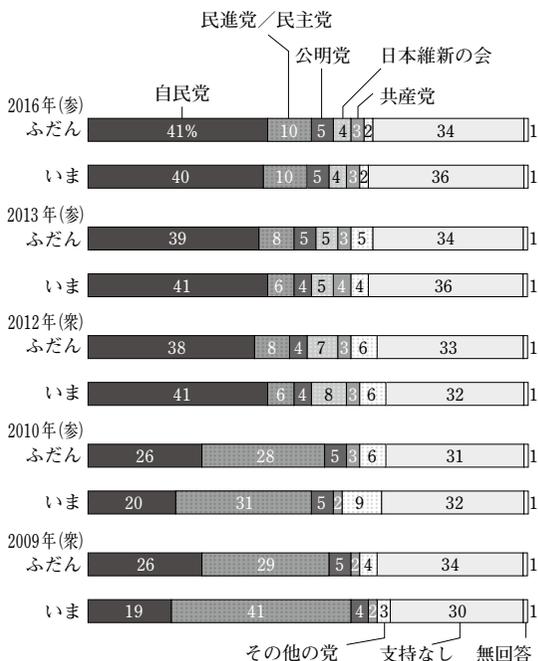
男女年層別にみると、2010年(参)には男性の40代以下では『保守的』と『革新的』が同程度だったが、2013年(参)と2016年(参)にはすべての年層で『保守的』が『革新的』を上回るようになり、若い年層でも『保守的』と考える人が多くなっている。

## 5. 政党・政権に対する評価

### (1) 動きがなかった「ふだん」と「いま」の政党支持

この調査では政党支持に関して、政党名を1つだけ答えてもらう①「ふだんの支持政党」と②「いまの支持政党」のほか、各政党について

図28 「ふだん」と「いま」の支持政党  
(全体)



「強く支持する」から「絶対に支持しない」までの5段階で答えてもらう③「政党支持強度」の3種類の質問をしている。

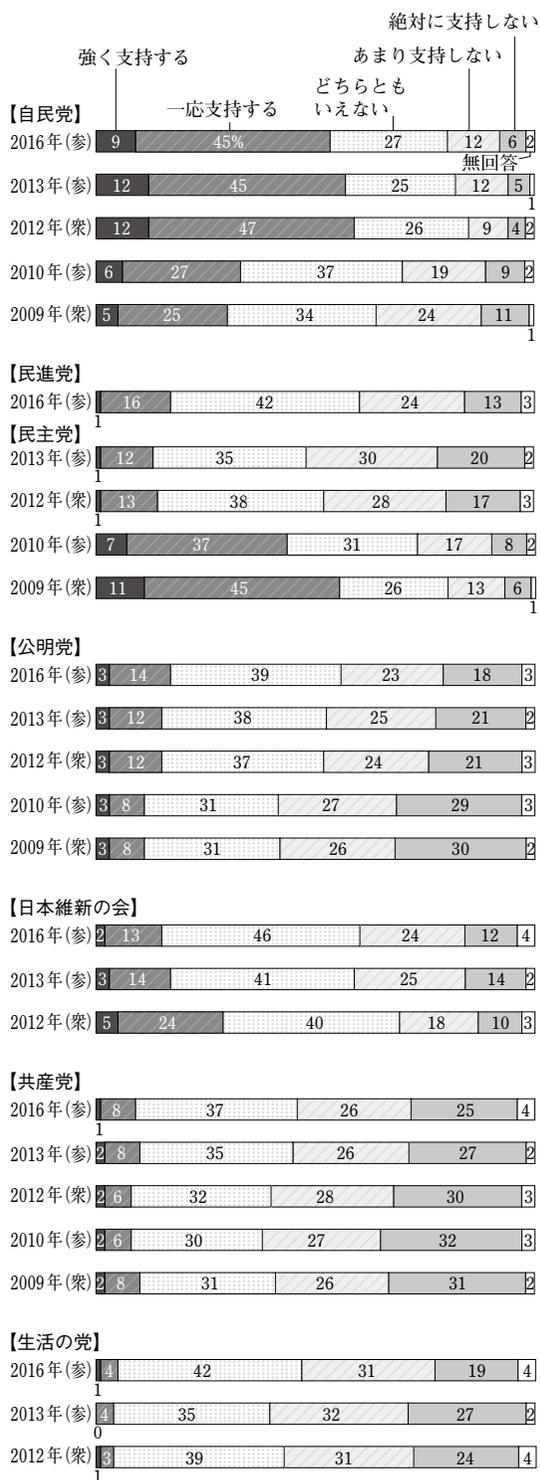
まず、「ふだん」と「いま」の支持政党をみると、ふだんの支持政党については、自民党が41%、次に多い民進党が10%で、自民党が他の政党を引き離している(図28)。いまの支持政党も自民党40%、民進党10%と、ふだんの支持政党とほとんど同じで、ふだんの支持政党、いまの支持政党ともに1位と2位の政党には30%程度の差がついている。2009年(衆)や2010年(参)では、ふだん、いまの支持率とも、1位の民主党と2位の自民党の支持率の差は今回のように大きくはなかったが、2012年(衆)以降は自民党単独優位の状況が続いている。

## (2) 政党支持強度も自民1党優位が続く

次に、政党の支持の強さをみでみる。「強く支持する」と「一応支持する」を合わせた『支持感』、「あまり支持しない」と「絶対に支持しない」を合わせた『不支持感』をみると、『支持感』が最も高いのは自民党の53%で唯一半数を超えており、『不支持感』は18%と少ない(図29)。ただし、自民党の高い『支持感』もそのほとんどは「一応支持する」で、固い支持というわけではない。また2012年(衆)の59%と比べると『支持感』が減少している。

自民党以外の政党では、民進党の『支持感』が自民党の次に高いが、民進党でも『支持感』18%に対して『不支持感』38%と、『不支持感』が『支持感』のおよそ2倍になっている。2013年(参)からは大きな変化はないが、民進党、公明党で『支持感』が増加し(それぞれ12%→18%、15%→17%)、日本維新の会では『支持感』が減少している(17%→15%)。

図 29 政党支持強度 (全体)

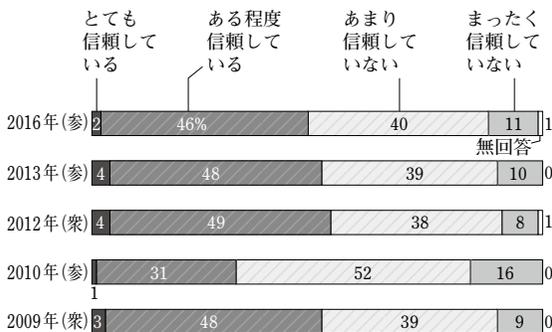


2016年(参)の『支持感』が高い政党順

### (3) 内閣への信頼は約半数を維持

いまの内閣を『信頼している(「とても」+「ある程度」)』は48%である(図30)。これは2013年(参)の51%と同程度で、2012年(衆)の53%より低いが、2010年(参)の32%と比較すると高い水準を保っている。

図30 内閣への信頼度 (全体)

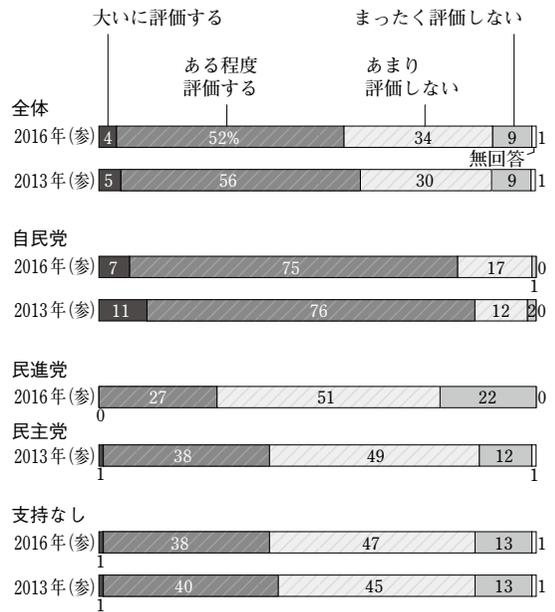


いまの支持政党別にみると、自民党では『信頼している』が74%、民進党では24%、支持なしでは28%となっている。自民党支持層では『信頼している』の割合が圧倒的に高いが、2012年(衆)の81%から74%に減少しており、第2次安倍内閣発足直後ほどの高さではなくなっている。

安倍総理大臣の経済政策については、「大いに評価する」が4%、「ある程度評価する」が52%で、『評価する』は合わせて56%となり、「あまり評価しない」「まったく評価しない」を合わせた『評価しない』の43%を上回っているものの、2013年(参)の61%から減少した(図31)。

『評価する』をいまの支持政党別にみると、支持なしでは変化がないが、自民党は86%から82%に、民進党は39%から27%に、それぞれ減少している。

図31 経済政策の評価 (全体・いまの支持政党別)

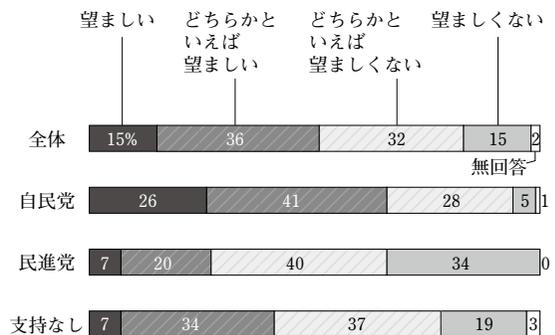


## 6. 今後の政界について

### (1) “改憲勢力” 3分の2の評価は分かれる

2016年の参院選の結果、衆議院・参議院とも憲法改正に前向きな勢力が3分の2となり、憲法改正案の発議が可能になった。この状況について、どう思うかを尋ねた。『望ましい(「どちらかといえば望ましい」を含む)』は51%、『望ましく

図32 “改憲勢力” 3分の2確保への評価 (全体・いまの支持政党別)



ない(「どちらかといえば」を含む)』は47%で、改憲勢力が3分の2を確保したことを肯定的にみる人と否定的にみる人が同程度となった(図32)。

いまの支持政党別にみると、自民党支持層では『望ましい』が67%で多数だが、民進党支持層は26%、支持なしでは40%で、逆に『望ましくない』のほうが多数となっている。

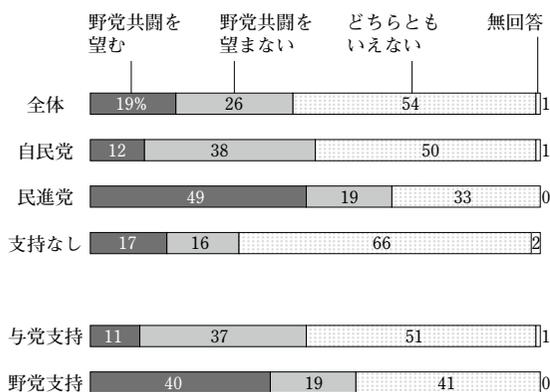
また、憲法を「改正する必要がある」という人では『望ましい』が77%と多いのに対し、「改正する必要はない」という人では、『望ましい』は22%にとどまっている。

## (2) 衆院選での野党共闘を「望む」は19%

参院選では民進党、共産党、生活の党、社民党の4党が1人区で候補者を一本化した。衆院選でも野党が共闘することを望むかを聞いた。野党共闘を「望む」は19%、「望まない」は26%、「どちらともいえない」は54%で、「どちらともいえない」が半数を占める(図33)。

支持政党別にみると「望む」は民進党で49%と多くなっている。自民・公明の与党支持では11%、野党支持では40%である。

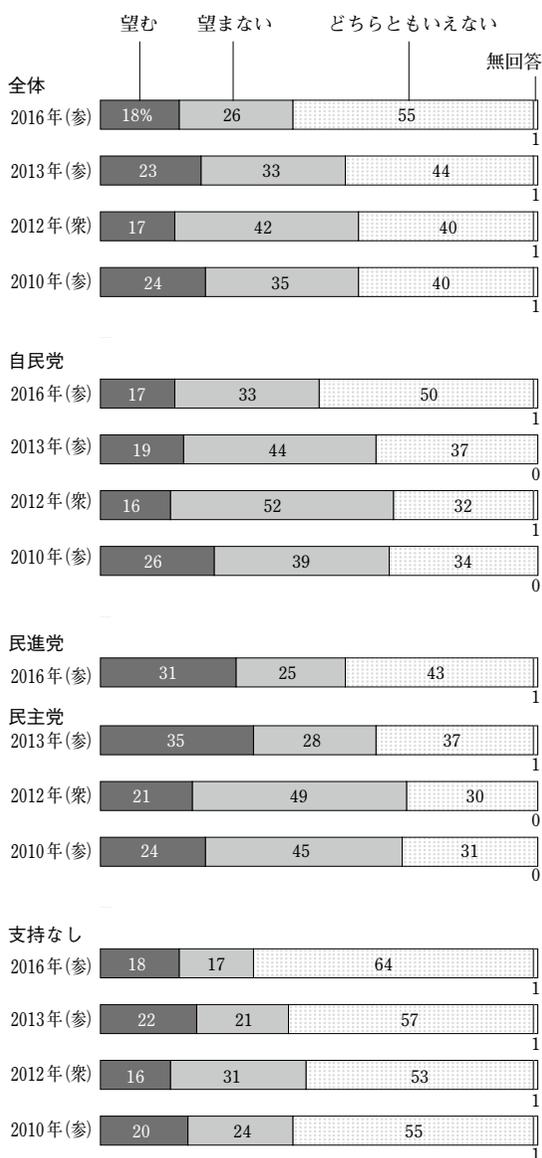
図33 衆院選での“野党共闘”への期待  
(全体・いまの支持政党別)



## (3) 政界再編「どちらともいえない」が過半数に

今後の政界再編については、「望む」18%、「望まない」26%、「どちらともいえない」55%で、「どちらともいえない」が最も多い(図34)。

図34 政界再編の期待  
(全体・いまの支持政党別)



2013年(参)と比べると、「望む」と「望まない」がともに減り、「どちらともいえない」だけがが増えて過半数となった。

いまの支持政党別にみると、「どちらともいえない」は自民党、支持なしで2013年(参)より増えている。民進党も2012年(衆)と比較すると増加しており、全体的に増加傾向にある。

#### (4) 2大政党を望む人は依然6割

日本の政党のあり方としてどのような形がよいかを尋ねたところ、「政策に差がある2大政党」が最も多く34%、次いで「政策が近い2大政党」の27%となった(図35)。政策の違いを別にすれば、『2大政党』を望む人が6割となる。この割合は2010年(参)から大きな変化はない。ただし2010年(参)と比べると、「政策が近い2大政党」が減少し、「政策に差がある2大政党」が増加している。

政界再編については「望む」が減り、「どちらともいえない」が過半数になったが、政党のあり方としては2大政党がよいという人はあまり変わっていないようだ。

いまの支持政党別にみると、『2大政党』を

望む人は自民党で67%、民進党で75%、支持なしで53%といずれも多数となっている。野党支持全体でみた場合でも『2大政党』は66%で、必ずしも大きな政党の支持者だけが2大政党を望んでいるとは限らない。また、支持なしでは「政策に差がある多数の政党」を望む人が22%と多くなっている。

#### おわりに

2009年からいままでの変化をみると、いまの生活について『満足している』という人や、暮らし向きに『ゆとりがある』という人が増加している。また、「失業やリストラ」「年収や家計」について心配している人も減少している。

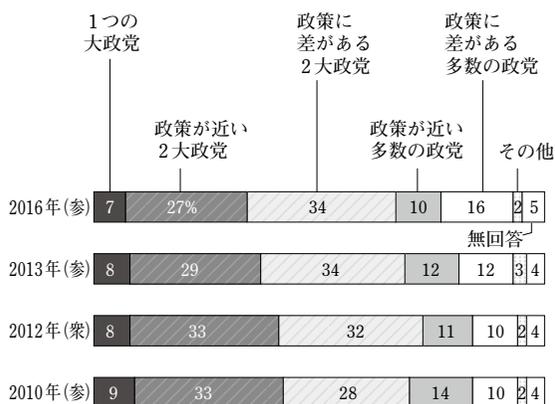
自民党の支持率は2012年の政権交代後、民進党など他の党を引き離しており、安倍政権に対する評価も高い水準を維持している。政治に対する満足度も、政権交代以降、上昇傾向にある。

ただし、いまでも7割の人が政治に不満を持っており、社会保障や政治とカネの問題などに不満を感じている人は多い。自民党に対する支持感や安倍内閣への信頼度、経済政策に対する評価は高いものの、やや低下している。

気になるのは、政治に対する関心が次第に下がってきていることである。実際に政治についてまわりの人と話し合う人も減っており、2013年に比べると「政治は政治家や専門家にまかせておけばよい」という人が増加している。2大政党を望む人が多い一方で、政界再編を望むかについては「どちらともいえない」という人が増えたのも、関心の低下の表れとみることもできるだろう。

今回の参院選は大きな争点がなく盛り上がり

図35 日本の政党のあり方(全体)



に欠けたとされ、選挙区の投票率も54.70%で戦後4番目に低かった。しかし、社会保障だけでなく、消費税、少子化対策、憲法改正問題、エネルギー問題など政治の課題は多い。こうした課題に関心を持ってもらうこともまた、政治の課題の1つであり、メディアにとっての課題ともいえるだろう。

(このの けい/あらまき ひろし)

注：

- 1) 調査ごとの報告は『放送研究と調査』の以下の号に掲載している。  
2009年衆院選 2010年4月号、5月号  
2010年参院選 2011年1月号  
2012年衆院選 2013年7月号  
2013年参院選 2014年1月号  
2009年衆院選～2013年参院選をまとめた分析は、2015年『NHK放送文化研究所年報』59, 129～166ページに掲載している。
- 2) 「投票した人」とは、第20・21問（選挙区・比例代表の投票政党）で、「投票には行かなかった」「選挙権がなかった」「無回答」以外の人。
- 3) 本稿では、「ゆとりがある」と「多少ゆとりがある」を合わせるなど、2つの選択肢をまとめる場合は、はじめに、『ゆとりがある（「多少ゆとりがある」を含む）』などと表示し、その後は省略して『ゆとりがある』などと書いている。
- 4) 自民党 参議院選挙公約2016  
[https://www.jimin.jp/election/results/sen\\_san24/political\\_promise/](https://www.jimin.jp/election/results/sen_san24/political_promise/)
- 5) 回答結果を足し上げる場合には、実数で足して%を計算しているのので、%を足し上げたものと一致しないことがある。

調査の概要

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)
調査目的	国政選挙後に、選挙での投票行動・政治意識・生活意識・社会意識などを尋ね、選挙結果の背景や有権者の政治観を探る				
調査時期	2009年11月28日(土) ～12月6日(日)	2010年9月11日(土) ～9月20日(月)	2013年2月21日(木) ～3月3日(日)	2013年9月7日(土) ～9月16日(月)	2016年9月10日(土) ～9月19日(月)
調査方法	配付回収法				
調査対象	全国 20 歳以上の国民			全国の有権者	全国 18 歳以上の国民
調査相手	住民基本台帳から層化無作為2段抽出 3,600人(12人×300地点)*			選挙人名簿から 層化無作為2段抽出 3,600人 (12人×300地点)	住民基本台帳から 層化無作為2段抽出 2,400人 (12人×200地点)*
調査有効数(率)	2,658人(73.8%)	2,675人(74.3%)	2,696人(74.9%)	2,627人(73.0%)	1,732人(72.2%)

\* 2012年、2016年は、外国人も住民基本台帳に記載されているため、外国人と思われる人は除いた。

- 調査問の<>は開いている方が統計的に有意に高いことを示す(信頼度95%)。
- 右端から2番目(表形式では下から2番目)の<>は、2009年(衆)と2016年(参)の検定結果で、例えば「2016年(参) 55.8% <」ならば、2016年(参)が有意に高いことを示す。
- 右端(表形式では下)の△▽は、2010年(参)と2016年(参)の検定結果で、例えば「2016年(参) 55.8% △」ならば、2016年(参)が有意に高いことを示す。
- 枝分かれ質問は、「該当者分母」で表示している。

—生活の全体的満足感—

第1問 あなたは、今の生活に満足していますか、それとも不満ですか。次の中から1つだけ○をつけてください。(%)

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)
1. 満足している	12.7	< 14.9	15.7	13.9	15.9 <
2. どちらかといえば、満足している	50.1	50.2	52.7	54.2	55.8 < △
3. どちらかといえば、不満だ	28.2	26.8	24.8	25.1 >	22.5 > ▽
4. 不満だ	8.8	8.1 >	6.7	6.6	5.4 > ▽
5. 無回答	0.3	0.1	0.2	0.2	0.4 △
1. 満足している(「どちらかといえば」を含む)	62.8	65.0 <	68.3	68.1 <	71.7 < △
2. 不満だ(「どちらかといえば」を含む)	37.0	34.8 >	31.5	31.7 >	27.9 > ▽
3. 無回答	0.3	0.1	0.2	0.2	0.4 △

—暮らし向き—

第2問 あなたは、今の暮らし向きについて、全体としてどのように感じていますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)
1. 苦しい	17.2	15.8 >	13.3	11.9	10.1 > ▽
2. やや苦しい	46.2	45.7	44.9	45.2	44.6
3. 多少ゆとりがある	33.7	34.9 <	37.6	38.4	39.8 < △
4. ゆとりがある	2.6	3.4	3.7	4.3	5.0 < △
5. 無回答	0.3	0.2	0.4	0.3	0.6 △
1. 苦しい(「やや」を含む)	63.4	61.5 >	58.2	57.1	54.7 > ▽
2. ゆとりがある(「多少」を含む)	36.4	38.3 <	41.4	42.6	44.7 < △
3. 無回答	0.3	0.2	0.4	0.3	0.6 △

—生活上の心配—

第3問 あなたは、日常生活の中で、次のようなことがどの程度心配ですか。A～Jそれぞれについて、1つだけ○をつけてください。

		1. かなりある						2. 少し心配である				3. どちらとも		4. あまりではない		5. まったくはない		6. 無回答	
		(%)																	
		1. かなりある	2. 少し心配である	3. どちらとも	4. あまりではない	5. まったくはない	6. 無回答	1. (かなり、少し)	2. どちらとも	3. (あまり、まったく)	4. 無回答								
A. 自分の老後	2009年(衆)	38.4 ▽	39.4	11.9	8.5	1.2	0.6	77.8 ▽	11.9	9.7 △	0.6								
	2010年(参)	34.9	40.4	12.2	10.0	1.5	0.9	75.3	12.2	11.6	0.9								
	2012年(衆)	36.3	39.4 △	12.8	9.4	1.4	0.7 ▽	75.7	12.8	10.8	0.7 ▽								
	2013年(参)	33.9	42.6	13.3	8.3	1.5	0.3 △	76.6	13.3	9.8	0.3 △								
	2016年(参)	34.6 ▽	40.2	13.3	8.5	2.3 △	1.1	74.8 ▽	13.3	10.8	1.1								
B. 自分や家族の健康	2009年(衆)	24.6 ▽	53.2	11.7	9.0	0.7 △	0.8	77.8	11.7	9.7	0.8								
	2010年(参)	22.3	54.2	12.4	8.8	1.4	0.9	76.5	12.4	10.2	0.9								
	2012年(衆)	23.3	53.3	12.4	9.0	1.1	1.0	76.6	12.4	10.1	1.0								
	2013年(参)	23.6	52.9	13.0	8.7	1.1	0.6 △	76.5	13.0	9.9	0.6 △								
	2016年(参)	23.1	51.6	14.1 △	8.7	1.3 △	1.3	74.7 ▽	14.1 △	10.0	1.3								
C. 育児や教育	2009年(衆)	13.5 ▽	29.5	25.4	15.2	13.3	3.1	43.0 ▽	25.4	28.5	3.1								
	2010年(参)	11.7	28.4	26.1	15.9	14.1 △	3.7	40.2	26.1	30.0	3.7								
	2012年(衆)	10.7	27.3	25.9	15.6	16.2	4.3	38.0	25.9	31.8	4.3								
	2013年(参)	11.1	25.3	26.4	16.1	17.3	3.8	36.4	26.4	33.4	3.8								
	2016年(参)	10.3 ▽	25.9 ▽	26.2	16.5	17.4 △	3.8	36.3 ▽	26.2	33.8 △	3.8								
D. 家族の介護	2009年(衆)	29.8	37.2	18.5	9.0	3.9	1.7	67.0	18.5	12.8	1.7								
	2010年(参)	27.6	38.1	18.5 ▽	9.1	5.0	1.7	65.7	18.5 ▽	14.2	1.7								
	2012年(衆)	28.9	37.9	16.1	10.4	5.0	1.7	66.8	16.1	15.4	1.7								
	2013年(参)	28.8	37.5	17.1	10.2	4.8	1.5	66.3	17.1	15.1	1.5								
	2016年(参)	27.3	37.1	18.5	9.3	5.7 △	2.2	64.3	18.5	15.0 △	2.2								
E. 失業やリストラ	2009年(衆)	23.7 ▽	29.4	18.5	15.7	10.6 △	2.0	53.2 ▽	18.5	26.4 △	2.0								
	2010年(参)	20.1	28.0	20.3	16.4	12.5	2.7	48.1 ▽	20.3	28.9	2.7								
	2012年(衆)	18.2 ▽	25.7	22.1	17.4	13.7	2.8	43.9 ▽	22.1	31.1	2.8								
	2013年(参)	15.5 ▽	25.4	23.6	18.3	14.9 △	2.3 △	40.9 ▽	23.6	33.2 △	2.3 △								
	2016年(参)	13.0 ▽	22.9 ▽	23.5 △	18.9 △	18.2 △	3.5 △	35.9 ▽	23.5 △	37.1 △	3.5 △								
F. 年収や家計	2009年(衆)	32.2 ▽	37.5	14.9	11.6	2.4	1.3	69.8 ▽	14.9	14.0	1.3								
	2010年(参)	29.3	37.4	16.7	12.2	3.2	1.2	66.7	16.7	15.4	1.2								
	2012年(衆)	27.7	38.5	16.9 △	12.1	3.5	1.3	66.2	16.9 △	15.6	1.3								
	2013年(参)	25.9	38.1	19.4 △	12.3 △	3.3 △	1.0 △	64.0 ▽	19.4 △	15.6 △	1.0 △								
	2016年(参)	23.9 ▽	36.8	19.6 △	14.4 △	3.6 △	1.7	60.7 ▽	19.6 △	18.0 △	1.7								

		1. かなりである	2. 少し心配である	3. どちらとも	4. 心配ではないあまり	5. まったく心配ではない	6. 無回答	1. (かなり, 少し)	2. どちらとも	3. (あまり, まったく)	4. 無回答
		(% )									
G. 仕事上のストレス	2009年(衆)	14.6 ▽	29.2	25.7	17.3	10.6	2.6	43.8	25.7	27.9	2.6
	2010年(参)	12.7	30.4 ▽	25.6	16.2	12.3	2.8	43.1 ▽	25.6	28.4 △	2.8
	2012年(衆)	12.4	27.4	26.2	17.4	13.4	3.2	39.8	26.2	30.9	3.2
	2013年(参)	13.6	27.0	24.7	18.6	13.4	2.7	40.7	24.7	32.0	2.7
	2016年(参)	13.9	24.4 ▽ ▽	26.6	18.0	14.2 △	2.9	38.3 ▽ ▽	26.6	32.2 △ △	2.9
H. 地域の治安	2009年(衆)	6.8	31.2 ▽	27.4	28.4	5.1 △	1.0	38.1 ▽	27.4	33.5 △	1.0
	2010年(参)	6.2	26.3	28.6	30.8	6.9	1.2	32.5	28.6	37.7	1.2
	2012年(衆)	5.2	25.4	28.7	32.3 △	7.0	1.4	30.6	28.7	39.3 △	1.4
	2013年(参)	4.8	23.8	27.2	35.7 ▽	7.5	1.0	28.5	27.2	43.2 ▽	1.0 △
	2016年(参)	5.8	22.6 ▽ ▽	29.2	32.3 △	7.9 △	2.3 △	28.5 ▽ ▽	29.2	40.1 △	2.3 △ △
I. 地震・災害	2012年(衆)	32.2	39.8	15.1	10.3	1.7	0.9	72.0	15.1	12.0	0.9
	2013年(参)	33.3	40.9	14.3	9.1	1.9	0.5 △	74.2	14.3	11.0	0.5 △
	2016年(参)	32.6	40.7	14.4	9.1	1.7	1.6	73.3	14.4	10.8	1.6
J. 外国との戦争	2013年(参)	19.8 △	33.8	24.9 ▽	15.6 ▽	5.2 △	0.6 △	53.6 △	24.9 ▽	20.8 ▽	0.6 △
	2016年(参)	24.7	36.6	20.6	12.9	3.6	1.6	61.3	20.6	16.6	1.6

—市民意識—

第4問 あなたの今の生き方について、次の中から最も近いものに1つだけ○をつけてください。

2009年(衆) 2010年(参) 2012年(衆) 2013年(参) 2016年(参)

1. 社会のために必要なことを考え、みんなと力を合わせ、世の中をよくするように心がけている	5.8	5.9	6.1	5.4	5.2
2. 自分の生活とのかかわりの範囲で自分なりに考え、身近なところから世の中をよくするように心がけている	35.6	33.6	34.1	35.7	> 32.1 >
3. 決められたことには従い、世間に迷惑をかけないように心がけている	45.1	46.2	45.4	43.8	< 47.1
4. 自分や家族の生活を充実させることを第一に考え、世間のことにはかかわらないよう心がけている	4.8	4.9	4.9	5.4	5.5
5. どれもいえない	8.4	9.0	8.6	9.1	9.5
6. 無回答	0.3	0.3	< 0.9	0.6	0.6
1. 市民 (1+2)	41.4	39.5	40.2	41.1	> 37.3 >
2. 市民 (3+4)	49.9	51.2	50.2	49.1	< 52.6
3. どれもいえない	8.4	9.0	8.6	9.1	9.5
4. 無回答	0.3	0.3	< 0.9	0.6	0.6

一政治への関心一

第5問 あなたは、お住まいの市区町村の政治、都道府県の政治、それに国の政治について、どの程度関心がありますか。A～Cそれぞれについて、1つだけ○をつけてください。

		1. 非常に 関心がある	2. ある程度 関心がある	3. あまり 関心がない	4. まったく 関心がない	5. 無回答	1. 非常に 関心がある 程度	2. あまり 関心がない 程度	3. 無回答	
		(%)								
A. 市区町村の政治	2009年(衆)	21.1	54.9	19.9	3.5	0.6	76.0	23.4	0.6	
		∨		∧	∧		∨	∧		
	2010年(参)	17.3	54.2	22.9	5.2	0.4	71.4	28.1	0.4	
		∨		∧				∧		
	2012年(衆)	15.3	53.9	25.5	4.7	0.6	69.1	30.2	0.6	
	2013年(参)	14.0	55.7	24.7	4.9	0.6	69.8	29.6	0.6	
		∨		∧			∨	∧		
	2016年(参)	11.7	53.8	27.5	5.9	1.1	65.5	33.4	1.1	
		∨		∧	∧		∨	∧		
		▽		△		△	▽	△	△	
B. 都道府県の政治	2009年(衆)	16.6	56.6	22.4	3.5	0.9	73.2	25.9	0.9	
		∨		∧	∧		∨	∧		
	2010年(参)	12.8	54.5	26.8	5.2	0.7	67.3	32.0	0.7	
	2012年(衆)	11.7	54.1	28.3	4.9	1.0	65.8	33.2	1.0	
	2013年(参)	10.6	55.9	28.0	4.8	0.7	66.5	32.8	0.7	
		∨				∧	∨	∧	∧	
	2016年(参)	10.2	52.1	29.7	6.1	1.8	62.3	35.9	1.8	
		∨	∨	∧	∧	∧	∨	∧	∧	
		▽		△		△	▽	△	△	
C. 国の政治	2009年(衆)	36.2	47.6	12.5	3.2	0.5	83.8	15.7	0.5	
		∨		∧			∨	∧		
	2010年(参)	32.5	46.8	16.1	4.0	0.6	79.3	20.1	0.6	
		∨								
	2012年(衆)	29.8	48.9	16.5	3.9	0.9	78.7	20.4	0.9	
	2013年(参)	28.6	50.0	16.4	4.3	0.7	78.6	20.7	0.7	
		∨		∧		∧	∨	∧	∧	
	2016年(参)	23.2	50.8	19.5	5.3	1.3	73.9	24.8	1.3	
		∨	∧	∧	∧	∧	∨	∧	∧	
		▽	△	△	△	△	▽	△	△	

一政治への満足感一

第6問 あなたは、全体として、今の国の政治に満足していますか、それとも不満ですか。1つだけ○をつけてください。

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)
1. 満足している	0.3	0.2	< 1.0	1.3	1.3 < △
2. どちらかといえば、満足している	16.5	> 8.9	< 23.4	23.4	< 28.3 < △
3. どちらかといえば、不満だ	60.9	> 58.0	> 57.5	55.7	> 53.6 > ▽
4. 不満だ	21.9	< 32.7	> 17.7	18.8	> 16.2 > ▽
5. 無回答	0.4	0.2	0.4	0.8	0.6 △
1. 満足している (「どちらかといえば」を含む)	16.8	> 9.0	< 24.4	24.7	< 29.6 < △
2. 不満だ (「どちらかといえば」を含む)	82.8	< 90.7	> 75.1	74.5	> 69.9 > ▽
3. 無回答	0.4	0.2	0.4	0.8	0.6 △

一政治に対して不満な点一 (MA)

第7問 国の政治に関して、あなたが不満に思っているのはなんでしょうか。次の中から、あてはまるものをいくつか選んで○をつけてください。

	2016年(参)
1. 財政再建の取り組み	30.2
2. 景気・雇用対策	45.1
3. 消費税を含む税制改革	47.1
4. 経済格差の問題	29.4
5. 年金や医療などの社会保障政策	67.6
6. 子育て支援や少子化対策	32.6
7. 原子力発電などのエネルギー政策	31.4

8. 外交・安全保障政策	28.0
9. 憲法改正問題	23.3
10. 農業・畜産政策	14.3
11. 政治とカネの問題	54.4
12. 奨学金などの教育政策	20.4
13. 震災復興の取り組み	28.0
14. 国の事業見直しなどの行政改革	19.3
15. 地球温暖化対策	26.3
16. その他	2.8
17. 特になし	2.5
18. 無回答	0.2

—政治課題についての考え方—

第8問 これからの日本の社会や政治について、考え方がいろいろあります。A～Iそれぞれについて、あなたのお考えに近いほうに1つだけ○をつけてください。

(A)	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)	
1. 社会福祉が充実するなら、税負担が今より増えてもよい	71.2	< 75.5	> 70.8	72.3	> 69.5	▽
2. 社会福祉が後退しても、税負担が少ないほうがよい	27.0	> 22.2	< 27.3	25.2	< 28.9	△
3. 無回答	1.8	2.3	1.9	2.5	1.7	
(B)		2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)		
1. 景気対策のためであれば、財政の悪化はやむをえない		30.5	> 26.4	25.9		
2. 景気対策のためであっても、財政の悪化には反対だ		67.4	< 71.6	71.9		
3. 無回答		2.1	1.9	2.1		
(C)	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)	
1. 政権公約は国民との約束だから、その通りに実行するべきだ	25.4	< 35.0	< 44.4	46.3	48.0	< △
2. 政権公約は国民の支持が得られなければ、 実現にこだわる必要はない	73.7	> 63.7	> 53.6	52.2	49.7	> ▽
3. 無回答	1.0	1.3	< 2.0	1.6	2.3	< △
(D)		2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)		
1. チャンスが平等に与えられるなら、競争で貧富の差がついてもしかたがない		44.7	43.3	45.6		
2. 競争の自由をまもるよりも、格差をなくしていくの方が大切だ		53.1	54.3	51.7		
3. 無回答		2.2	2.4	2.7		
(E)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)		
1. これからも、アメリカとの関係を外交の基軸にしていくべきだ	51.6	< 61.9	> 55.7	< 62.8	△	
2. これからは、アジアとの関係に軸足を移していくべきだ	44.4	> 34.4	< 40.5	> 33.1	▽	
3. 無回答	4.0	3.7	3.8	4.1		
(F)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)		
1. 財政再建のために、消費税率を上げるのはやむをえない	51.7	53.0	54.3	> 49.3		
2. 財政再建のためであっても、消費税率を上げるのは反対だ	46.1	45.1	44.1	< 48.7		
3. 無回答	2.1	1.9	1.6	2.0		
(G)		2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)		
1. 人間は、原子力を安全に利用することができる		35.4	> 31.4	32.2		
2. 人間は、原子力を安全に利用することはできない		61.9	< 66.3	65.5		
3. 無回答		2.6	2.3	2.4		
(H)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)		
1. 治安を守るために、個人の権利が侵害されるのもやむを得ない	38.9	> 33.3	> 29.2	28.8	▽	
2. 治安を守るためであっても、個人の権利が侵害されるのは反対だ	59.1	< 64.6	< 68.5	68.7	△	
3. 無回答	2.0	2.1	2.3	2.5		
(I)		2016年(参)				
1. 日本でも、極めて重要な政治課題なら国民投票を実施できるようにすべきだ		84.3				
2. 極めて重要な政治課題であっても、国民投票の実施をする必要はない		13.2				
3. 無回答		2.5				

—民意は反映されているか—

第9問 あなたは、政治に対する国民の期待や要求は、どの程度、国の政治に反映されていると思いますか。1つだけ○をつけてください。

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)		
1. じゅうぶん反映されている	0.5	0.4	0.5	0.4	0.3		
2. ある程度反映されている	20.4	> 13.5	< 20.3	21.2	23.5	<	△
3. あまり反映されていない	66.2	65.2	63.1	63.2	60.9	>	▽
4. まったく反映されていない	12.9	< 20.5	> 15.7	14.4	14.7		▽
5. 無回答	0.2	0.4	0.5	0.8	0.6	<	
1. (じゅうぶん, ある程度) 反映されている	20.8	> 13.9	< 20.8	21.6	23.8	<	△
2. (あまり, まったく) 反映されていない	79.0	< 85.8	> 78.7	77.6	75.6	>	▽
3. 無回答	0.2	0.4	0.5	0.8	0.6	<	

—民意反映の役割—

第10問 政治について、いくつかの意見があります。A～Eのそれぞれについて、あなたは、どう思いますか。1つだけ○をつけてください。

		1. そう思う	2. どちらかといえば	3. そうは思わない	4. そうは思わない	5. 無回答	1. そう思う	2. どちらかといえば	3. 無回答
	(%)						そう思う	そうは思わない	
A. 選挙があるから 国民の声が政治に反映される	2009年(衆)	20.8	43.7	26.1	8.8	0.5	64.5	35.0	0.5
	2010年(参)	19.0	41.0	27.1	11.7	1.1	60.0	38.8	1.1
	2012年(衆)	17.6	40.2	27.6	13.5	1.2	57.8	41.0	1.2
	2013年(参)	13.7	42.4	29.7	13.4	0.7	56.1	43.2	0.7
	2016年(参)	14.0	44.2	28.8	12.1	0.9	58.1	40.9	0.9
B. 国会があるから 国民の声が政治に反映される	2009年(衆)	6.5	30.4	45.4	17.2	0.6	36.8	62.5	0.6
	2010年(参)	7.6	27.9	46.0	17.3	1.2	35.5	63.3	1.2
	2012年(衆)	7.0	30.2	42.3	19.1	1.5	37.1	61.4	1.5
	2013年(参)	6.3	30.2	44.4	18.4	0.7	36.5	62.8	0.7
	2016年(参)	6.4	32.7	43.4	16.2	1.3	39.1	59.6	1.3
C. 政党があるから 国民の声が政治に反映される	2009年(衆)	6.3	31.8	42.9	18.3	0.8	38.0	61.2	0.8
	2010年(参)	7.1	28.8	43.5	19.4	1.2	35.9	62.8	1.2
	2012年(衆)	7.0	28.6	43.1	19.8	1.5	35.6	62.9	1.5
	2013年(参)	6.0	28.5	44.4	20.4	0.8	34.5	64.8	0.8
	2016年(参)	5.7	32.2	42.7	18.2	1.3	37.8	60.9	1.3
D. テレビ、新聞があるから 国民の声が政治に反映される	2009年(衆)	16.7	47.1	25.5	10.1	0.6	63.8	35.6	0.6
	2010年(参)	16.9	42.7	26.8	12.4	1.2	59.6	39.3	1.2
	2012年(衆)	12.8	42.9	27.7	15.4	1.2	55.7	43.0	1.2
	2013年(参)	12.6	41.4	30.1	15.2	0.7	54.0	45.3	0.7
	2016年(参)	9.9	45.9	29.1	13.8	1.3	55.8	42.9	1.3
E. インターネットがあるから 国民の声が政治に反映される	2016年(参)	6.3	36.5	38.7	16.6	1.8	42.8	55.3	1.8

—政治の変化期待—

第11問 あなたは今の政治が変わってほしいと思いますか。1つだけ○をつけてください。

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)	
1. 大きく変わってほしい	32.2	< 38.4	> 29.2	> 22.8	> 18.9	> ▽
2. ある程度変わってほしい	61.9	> 57.0	< 60.9	< 64.4	67.2	< △
3. あまり変わってほしくない	5.0	> 3.6	< 8.4	< 11.1	12.4	< △
4. まったく変わってほしくない	0.7	0.4	0.8	1.1	0.8	
5. 無回答	0.3	0.6	0.8	0.6	0.8	<
1. (大きく, ある程度) 変わってほしい	94.1	< 95.5	> 90.0	> 87.1	86.1	> ▽
2. (あまり, まったく) 変わってほしくない	5.7	> 4.0	< 9.2	< 12.3	13.1	< △
3. 無回答	0.3	0.6	0.8	0.6	0.8	<

—組織への信頼—

第12問 あなたは、次のA～Iのような組織について、どの程度信頼していますか。A～Iそれぞれについて、1つだけ○をつけてください。

	(%)	1. 信頼している	2. どちらかといえは	3. 信頼していない	4. 信頼していない	5. 無回答	1. 信頼している	2. どちらかといえはを含む	3. 無回答
			どちらかといえは	どちらかといえは			どちらかといえはを含む	どちらかといえはを含む	
A. 国会	2009年(衆)	2.9	31.6	50.1	14.6	0.9	34.4	64.7	0.9
	2010年(参)	3.7	31.3	46.2	17.6	1.2	35.0	63.8	1.2
	2012年(衆)	3.9	35.4	44.3	15.0	1.3	39.3	59.3	1.3
	2013年(参)	4.2	36.6	43.5	14.9	0.8	40.8	58.4	0.8
	2016年(参)	4.3	38.0	41.9	14.3	1.4	42.3	56.2	1.4
B. 政府	2009年(衆)	2.4	33.0	48.9	14.7	0.9	35.4	63.7	0.9
	2010年(参)	2.6	30.8	47.7	17.8	1.1	33.4	65.5	1.1
	2012年(衆)	3.5	37.7	42.6	14.8	1.4	41.2	57.4	1.4
	2013年(参)	3.8	37.8	41.8	15.7	0.9	41.6	57.5	0.9
	2016年(参)	3.8	39.6	39.9	15.2	1.4	43.4	55.1	1.4
C. 政党	2009年(衆)	2.5	27.1	51.5	17.8	1.2	29.6	69.2	1.2
	2010年(参)	2.2	24.6	49.9	22.1	1.2	26.8	72.0	1.2
	2012年(衆)	3.4	27.5	48.6	19.0	1.5	30.9	67.5	1.5
	2013年(参)	3.2	28.1	49.0	18.9	0.9	31.3	67.8	0.9
	2016年(参)	3.0	29.7	47.1	18.4	1.9	32.7	65.4	1.9
D. 中央官庁	2009年(衆)	1.5	25.7	50.0	20.9	1.8	27.3	70.9	1.8
	2010年(参)	2.0	30.2	46.2	19.2	2.3	32.3	65.4	2.3
	2012年(衆)	1.9	30.0	47.9	17.6	2.5	32.0	65.5	2.5
	2013年(参)	2.6	31.8	46.0	18.0	1.6	34.4	64.0	1.6
	2016年(参)	2.9	38.5	41.1	14.7	2.8	41.4	55.8	2.8

		1. 信頼している	2. 信頼している どちらかといえば	3. 信頼していない どちらかといえば	4. 信頼していない	5. 無回答	1. 信頼している (どちらかといえはを含む)	2. 信頼していない (どちらかといえはを含む)	3. 無回答
		(%)							
E. 裁判所	2009年(衆)	12.9 ^	58.7	20.4	6.4	1.6	71.5	26.9	1.6
	2010年(参)	16.4 v	57.0	18.9 ^	6.1	1.6	73.4 v	25.0 ^	1.6
	2012年(衆)	11.5 ^	57.5	21.8 v	7.3 v	1.9	69.0 ^	29.1 v	1.9
	2013年(参)	14.4	59.4	19.0	5.6	1.6	73.8 ^	24.6 v	1.6
	2016年(参)	15.9 ^	60.9	16.9 v	4.4 v	2.0	76.7 ^	21.3 v	2.0
F. 地元の役場や役所	2009年(衆)	7.7	56.9	27.5 v	6.7	1.3	64.6 ^	34.2 v	1.3
	2010年(参)	8.5	58.7	24.4	7.2	1.1	67.3 v	31.6 v	1.1
	2012年(衆)	9.6	60.1	22.2	6.5	1.6	69.7	28.7	1.6
	2013年(参)	9.3	62.0	22.1	5.6	1.1	71.2	27.7	1.1
	2016年(参)	10.4 ^ △	61.0 ^	21.4 v v	5.8	1.4	71.4 ^ △	27.2 v v	1.4
G. 警察	2009年(衆)	11.2	57.9	22.3	7.5	1.0	69.1	29.9	1.0
	2010年(参)	12.6 v	56.8	22.0	7.4	1.2	69.4	29.4	1.2
	2012年(衆)	10.3	57.4	22.8	8.0	1.6	67.7 v	30.7 v	1.6
	2013年(参)	11.9	56.9	22.8	7.4 v	1.0	68.8	30.2	1.0
	2016年(参)	13.8 ^	56.9	22.3	5.5 v v	1.5	70.7	27.8	1.5
H. テレビ局	2009年(衆)	5.8	45.7	35.9	11.8	0.8	51.5	47.7	0.8
	2010年(参)	5.8	47.0	33.8	12.4 ^	0.9	52.9	46.2	0.9
	2012年(衆)	5.3	45.7	33.1	14.5	1.3	51.1	47.6	1.3
	2013年(参)	5.4 v	43.7	35.4 ^	14.6	0.9	49.1 v	50.0 ^	0.9
	2016年(参)	4.0 v v	41.5 v v	38.7 ^ △	14.5 ^ △	1.3	45.6 v v	53.2 ^ △	1.3
I. 新聞社	2009年(衆)	8.1	58.1	24.8	8.1	0.8	66.3	32.9	0.8
	2010年(参)	8.9	57.0 v	24.8	8.4 ^	0.9	65.8 v	33.2 ^	0.9
	2012年(衆)	8.0	53.2	26.6	10.9	1.3	61.2	37.5	1.3
	2013年(参)	7.8 v	53.7	27.0	10.7	0.8	61.5 v	37.7 v	0.8
	2016年(参)	5.8 v v	52.5 v v	29.5 ^ △	10.7 ^ △	1.4	58.3 v v	40.2 ^ △	1.4

一政治観一

第13問 あなたは、政治に関する次の考え方について、どう思いますか。A～Gのそれぞれについて、1つだけ○をつけてください。

		1. そう思う	2. そう思う どちらかといえば	3. そうは思わない どちらかといえば	4. そうは思わない	5. 無回答	1. (どちらかといえは含む) そう思う	2. (どちらかといえは含む) そうは思わない	3. 無回答	
		(%)								
A. 政治は自分の生活に関係ない	2009年(衆)	4.6	14.5 ^	35.3	45.0 v	0.6	19.1 ^	80.3 v	0.6	
	2010年(参)	4.7	16.9	36.6	40.9	0.9	21.6	77.5	0.9	
	2012年(衆)	4.9	17.4	38.1	38.5	1.0 v	22.3	76.6	1.0 v	
	2013年(参)	4.8	17.0	39.5	38.2	0.5 ^	21.8	77.7	0.5 ^	
	2016年(参)	5.3	16.5	41.3 ^ △	35.6 v ▽	1.4 ^	21.8 ^	76.8 v	1.4 ^	
B. 政治は政治家や専門家に まかせておけばよい	2009年(衆)	3.0 ^	16.0	38.8	41.4 v	0.8	19.1	80.2	0.8	
	2010年(参)	4.2	16.6	41.3	36.7	1.1	20.9	78.1	1.1	
	2012年(衆)	3.9	18.4	39.8	36.6	1.3 v	22.3	76.4 ^	1.3 v	
	2013年(参)	3.3	17.3	40.8	38.0	0.6 ^	20.6 ^	78.8 v	0.6 ^	
	2016年(参)	3.8	19.6 ^ △	42.7 ^	32.0 v ▽	1.8 ^	23.4 ^ △	74.8 v ▽	1.8 ^	
C. 国民が国の政治について 何か言っても、 政治が変わるとは思わない	2009年(衆)	20.8	36.6	26.6	15.2 v	0.8	57.4	41.8 v	0.8	
	2010年(参)	21.5 ^	38.5	25.7	13.1	1.2	60.0	38.8	1.2	
	2012年(衆)	24.6 v	37.2	24.1	12.8	1.4 v	61.8	36.8	1.4 v	
	2013年(参)	22.3	39.5	25.6	12.1	0.5 ^	61.8	37.7	0.5 ^	
	2016年(参)	22.8	37.0	27.4	11.5 v	1.3	59.8	38.9	1.3	
D. 国民の生活や国の将来を 真剣に考えている政治家が少ない	2009年(衆)	39.0 ^	37.3	18.4 v	4.8	0.6	76.3 ^	23.2 v	0.6	
	2010年(参)	43.3 v	37.1 ^	14.7	3.9	1.0	80.4	18.5	1.0	
	2012年(衆)	38.2	40.4	15.8	4.4	1.3 v	78.5	20.2	1.3 v	
	2013年(参)	37.3	42.2	15.5 ^	4.3	0.6 ^	79.5 v	19.9	0.6 ^	
	2016年(参)	34.4 v ▽	42.4 ^ △	18.2 ^	3.8	1.3 ^	76.8 v ▽	21.9 ^	1.3 ^	
E. 自分ひとりぐらい投票しなくても、 選挙の結果に大きな影響はない	2009年(衆)	10.1	24.0	29.2	35.9 v	0.8	34.2	65.0	0.8	
	2010年(参)	11.6 ^	24.6	29.7	33.0	1.0	36.2 ^	62.7 v	1.0	
	2012年(衆)	13.7	25.9	27.7	31.5	1.1 v	39.7	59.2	1.1 v	
	2013年(参)	13.5	26.4	29.2 ^	30.3	0.5 ^	39.9	59.6	0.5 ^	
	2016年(参)	12.2 ^	26.4	32.0 ^	27.9 v ▽	1.5 ^	38.6 ^	59.9 v	1.5 ^	
F. 政治家に問題があるのは、 選んだ有権者にも責任がある	2009年(衆)	36.5	38.3	16.5	8.3	0.5 ^	74.8	24.8	0.5 ^	
	2010年(参)	37.4	37.9	15.2	8.5	1.0	75.3	23.7	1.0	
	2012年(衆)	36.1	39.1	15.3	8.2	1.2 v	75.3	23.6	1.2 v	
	2013年(参)	35.4 v	40.4	15.2 ^	8.6	0.5 ^	75.8 v	23.8	0.5 ^	
	2016年(参)	31.9 v ▽	40.4	18.5 ^	7.9	1.4 ^	72.3 v ▽	26.3	1.4 ^	

	(%)	1. そう思う	2. そう思う どちらかといえば	3. そうは 思わない どちらか といえば	4. そうは 思わない	5. 無 回答	1. (どちらか といえは を含む) そう 思う	2. (どちらか といえは を含む) そう は 思 わ な い	3. 無 回 答
G. 政治のことがよくわからない者は、 選挙で投票しない方がいい	2016年(参)	10.8	18.6	33.1	35.9	1.5	29.4	69.1	1.5

### 一政党への期待— (MA)

第14問 あなたは、政党に、どのようなことを期待しますか。次の中から、あてはまるものをいくつか選んで○をつけてください。

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)
1. 地元の発展に貢献してくれる	39.8	37.2	37.1	39.2	< 42.9 < △
2. 長期的な視野に立った政策がある	48.3	48.3	45.8	46.1	45.4
3. 弱者の立場に立ってくれる	51.6	> 45.4 >	41.1	41.6	42.5 >
4. 自分たちの利益を守ってくれる	20.1	19.4	> 17.0	17.6	19.6
5. 改革に意欲がある	32.7	< 35.3	33.1	32.7	> 27.9 > ▽
6. 自分たちの意見を代弁してくれる	43.4	43.8	42.6	42.9	< 46.4
7. その他	3.3	2.7	3.6	2.9	2.0 >
8. 期待することはない	10.8	< 13.3	13.3	14.7	> 11.4
9. 無回答	0.3	< 0.9	1.0	0.8	1.0 <

### 一投票姿勢—

第15問 あなたは、選挙のとき、投票に行きますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)
1. どんな選挙でも必ず投票に行く	47.1	48.1	46.4	> 42.6	43.0 > ▽
2. だいたい投票に行くようにしている	37.4	> 34.8	34.4	< 37.5	36.8
3. 特に必要があったときだけ投票に行く	11.2	11.2	12.5	12.8	12.7
4. 投票には行かない	3.8	< 5.2	6.2	6.7	6.8 < △
5. 選挙権がない	0.3	0.3	> 0.0	0.1	0.0 > ▽
6. 無回答	0.1	0.3	0.5	0.3	0.7 <

### 一社会・政治活動への参加— (MA)

第16問 ここ1年の間で参加したものがあれば、いくつか○をつけてください。

	2016年(参)
1. 地縁的な活動(自治会、町内会、PTAなど)	43.0
2. 趣味・娯楽のグループ活動(スポーツ、芸術活動、生涯学習など)	31.5
3. ボランティア・市民活動(福祉活動、被災地支援、まちづくりなど)	17.7
4. 政治にかかわる活動(集会、イベント、デモなど)	4.6
5. この中で参加したものはなし	36.7
6. 無回答	1.4

### 一政治話題の頻度—

第17問 あなたは、政治について、まわりの人と話し合うことがどの程度ありますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)
1. よくある	14.7	> 12.2	11.3	10.5	> 5.1 > ▽
2. ときどきある	53.2	52.4	> 49.4	46.8	> 41.2 > ▽
3. あまりない	24.0	25.7	< 28.9	29.2	< 33.4 < △
4. ほとんどない	7.9	< 9.5	9.9	< 13.2	< 19.7 < △
5. 無回答	0.1	0.2	0.4	0.3	0.6 < △
1. (よく、ときどき) ある	67.9	> 64.6 >	60.8	> 57.3	> 46.3 > ▽
2. (あまり、ほとんど) ない	31.9	< 35.2 <	38.8	< 42.4	< 53.1 < △
3. 無回答	0.1	0.2	0.4	0.3	0.6 < △

—政治情報への接触頻度—

第18問 政治に関する情報を得るために、あなたは、次のメディアをどの程度利用することがありますか。A～Cそれぞれについて、1つだけ○をつけてください。

		1. よく利用する	2. ときどき	3. あまり利用しない	4. ほとんど利用しない	5. 無回答	1. 利用する (よく)	2. 利用しない (あまり、ほとんど)	3. 無回答
		(%)					(%)	(%)	
A. テレビ	2009年(衆)	63.1	27.1	6.2	3.1	0.6	90.1	9.3	0.6
	2010年(参)	61.6	28.0	6.4	3.5	0.5	89.6	9.8	0.5
	2012年(衆)	57.6	29.4	7.5	4.6	0.9	87.0	12.1	0.9
	2013年(参)	52.5	32.7	8.3	6.1	0.5	85.2	14.4	0.5
	2016年(参)	54.0	30.9	8.2	5.7	1.2	84.9	13.9	1.2
B. 新聞	2009年(衆)	46.3	32.7	12.4	7.3	1.3	79.0	19.7	1.3
	2010年(参)	44.8	32.8	13.0	8.2	1.2	77.6	21.2	1.2
	2012年(衆)	39.6	33.0	13.9	11.9	1.6	72.6	25.7	1.6
	2013年(参)	39.7	34.0	12.1	13.4	0.8	73.7	25.5	0.8
	2016年(参)	33.5	30.3	17.2	17.2	1.7	63.9	34.4	1.7
C. インターネット	2009年(衆)	14.0	18.1	16.6	48.0	3.3	32.1	64.6	3.3
	2010年(参)	13.1	17.2	19.0	48.1	2.6	30.3	67.1	2.6
	2012年(衆)	16.8	19.4	16.7	44.0	3.1	36.2	60.7	3.1
	2013年(参)	15.4	16.7	17.7	47.8	2.2	32.2	65.6	2.2
	2016年(参)	24.4	21.0	16.4	34.4	3.8	45.4	50.8	3.8

—内閣への信頼度—

第19問 あなたは、いまの内閣をどの程度信頼していますか。あなたのお気持ちに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)	
1. とても信頼している	3.0	> 0.7	< 4.4	3.7	> 2.3	△
2. ある程度信頼している	48.2	> 31.0	< 48.6	47.5	46.0	△
3. あまり信頼していない	39.0	< 52.0	> 38.2	38.9	39.8	▽
4. まったく信頼していない	9.3	< 16.0	> 8.1	9.6	11.2	< ▽
5. 無回答	0.4	0.4	0.7	> 0.3	< 0.8	
1. (とても、ある程度) 信頼している	51.3	> 31.6	< 53.0	51.2	48.3	△
2. (あまり、まったく) 信頼していない	48.3	< 68.0	> 46.3	48.5	51.0	▽
3. 無回答	0.4	0.4	0.7	> 0.3	< 0.8	

—選挙区の投票政党—

第20問 7月の参議院選挙についてうかがいます。まず、選挙区はどの政党の候補者に投票しましたか。それとも投票には行きませんでしたか。次の中から1つだけ○をつけてください。

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)	
1. 自民党の候補者	27.7	> 24.2	< 36.8	35.5	35.8	< △
2. 民進党の候補者	—	—	—	—	15.0	
民主党の候補者	45.7	> 32.8	> 13.7	> 8.9	—	
3. 公明党の候補者	4.1	5.2	> 4.0	4.3	< 5.8	<
4. 共産党の候補者	2.5	< 3.5	4.0	< 5.6	4.8	< △
5. おおさか維新の会の候補者	—	—	—	—	4.4	
日本維新の会の候補者	—	—	7.7	> 5.1	—	
6. 社民党の候補者	1.3	0.9	0.7	0.7	0.3	> ▽

7. 生活の党の候補者	.....	—	—	—	1.0	0.6				
8. 日本のことを大切にす党の候補者	.....	—	—	—	—	0.6				
9. 無所属の候補者	.....	1.5	>	0.8	1.3	1.9	<	3.1 < △		
10. その他	.....	2.7		8.8	7.6	6.5		2.6		
11. 投票には行かなかった	.....	13.4	<	21.7	22.7	<	29.3	>	26.4 < △	
12. 選挙権がなかった	.....	—		0.6	>	0.1	0.0	0.1	▽	
13. 無回答	.....	1.1		1.5	1.6	1.3	>	0.5	>	▽

2009年(衆) 10.「その他」には、「改革クラブ0.0」「国民新党0.5」「新党日本0.3」「みんなの党1.4」が含まれる  
2009年(衆) 11.「投票には行かなかった・選挙権がなかった」  
2010年(参) 10.「その他」には、「たちあがれ日本0.5」「新党改革0.6」「国民新党0.4」「みんなの党6.3」が含まれる  
2012年(衆) 10.「その他」には、「日本未来の党1.3」「国民新党0.4」「新党日本0.0」「みんなの党4.4」「新党大地0.3」が含まれる  
2013年(参) 10.「その他」には、「みんなの党3.7」「みどりの風0.8」「新党大地0.4」「社大党0.2」「幸福実現党0.1」「緑の党0.2」が含まれる  
「その他」は検定していない

一比例代表の投票政党一

第21問 それでは、比例代表の投票はどの政党または、どの政党の候補者に投票しましたか。それとも投票には行きませんでしたか。次の中から1つだけ○をつけてください。

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)						
1. 自民党	24.5	>	22.2	<	29.3	29.0	<	32.5	<	△	
2. 民進党	—	—	—	—	13.2	—	—	—	—	—	
民主党	42.3	>	29.9	>	11.3	>	8.9	—	—	—	
3. 公明党	6.8	—	6.9	—	6.9	—	7.7	—	8.1	—	
4. 共産党	4.1	—	3.7	—	4.0	<	5.6	—	6.2	<	△
5. おおさか維新の会	—	—	—	—	—	—	—	—	6.6	—	
日本維新の会	—	—	—	12.1	>	7.2	—	—	—	—	
6. 社民党	2.3	>	1.3	—	0.9	<	1.7	—	1.0	>	
7. 生活の党	—	—	—	—	1.3	—	—	—	1.3	—	
8. 日本のことを大切にす党	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1	—	
9. その他	5.4	—	13.3	—	10.9	—	8.0	—	3.0	—	
10. 投票には行かなかった	13.6	<	20.7	—	22.7	<	29.3	>	26.4	<	△
11. 選挙権がなかった	—	—	0.6	>	0.1	—	0.0	—	0.1	▽	
12. 無回答	1.0	—	1.3	—	1.8	—	1.3	>	0.6	▽	

2009年(衆) 9.「その他」には、「改革クラブ0.0」「新党日本0.5」「国民新党0.9」「みんなの党2.9」が含まれる  
2009年(衆) 10.「投票には行かなかった・選挙権がなかった」  
2010年(参) 9.「その他」には、「たちあがれ日本0.6」「国民新党0.8」「新党改革0.9」「みんなの党9.1」が含まれる  
2012年(衆) 9.「その他」には、「日本未来の党1.9」「国民新党0.3」「新党改革0.1」「みんなの党4.4」「新党大地0.4」「幸福実現党0.1」が含まれる  
2013年(参) 9.「その他」には、「みんなの党5.2」「みどりの風0.7」「新党大地0.5」「幸福実現党0.2」「緑の党0.5」が含まれる  
「その他」は検定していない

一投票に行った理由一 (該当者分母)

第22問 【参議院選挙で投票に行った方に】投票に行った最も大きな理由を次の中から1つだけ○をつけてください。

	2016年(参)
1. 投票したい候補者や政党があったから	21.3
2. 今回の選挙に興味や関心があったから	8.3
3. 選挙に自分の一票を生かしたかったから	34.0
4. 投票には行くことにしているから	33.1
5. 18歳, 19歳が選挙権を得たのに触発されたから	1.4
6. その他	1.7
7. 無回答	0.3

該当者= 1,272人

一投票に行かなかった理由一 (該当者分母)

第23問 【参議院選挙で投票に行かなかった方に】投票に行かなかった最も大きな理由を次の中から1つだけ○をつけてください。

	2016年(参)
1. 政治には関心がないから	10.0
2. 政治に失望したから	7.4
3. 政治についてよくわからないから	8.1
4. 今回の選挙に興味を持てなかったから	11.6
5. 自分一人が投票しなくても大勢には影響しないと思ったから	4.4
6. 投票したい候補者や政党がなかったから	14.6
7. 投票に行くのが面倒だったから	4.1
8. 投票に行く時間がなかったから	20.3
9. 身体の具合が悪かったから	14.6

10. 住民票を移していなかったから	1.7
11. 選挙権がなかったから	0.2
12. その他	1.7
13. 無回答	1.1
該当者= 458 人	

—投票で重視した点— (MA)

第24問 あなたが参議院選挙の投票の際、重視したものは何ですか。次の中から、あてはまるものをいくつか選んで○をつけてください。

	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)	
1. 自民党中心の政権の業績※	13.8	12.1	14.4	14.3	
2. 政権担当能力	18.4	< 31.5	> 23.3	> 17.6	
3. 候補者や政党の政策	37.2	> 34.0	> 30.3	31.4	▽
4. 候補者や政党の印象	19.6	18.8	> 15.3	16.1	▽
5. 地元とのつながり	11.1	< 13.6	> 10.2	11.5	
6. 家族や知人の意見	8.3	7.7	7.1	7.9	
7. 選挙後の議席のバランス	9.3	> 6.3	< 9.4	9.9	
8. その他	2.3	2.0	1.4	0.9	▽
9. 特になし	3.7	3.4	< 4.7	4.8	
10. 投票には行かなかった	20.6	22.7	< 29.3	> 26.4	△
11. 選挙権がなかった	0.6	> 0.1	0.0	0.1	▽
12. 無回答	1.4	1.0	0.6	0.3	▽

※2010年(参)と2012年(衆)の1.は「民主党中心の政権の実績」。

—投票で重視した課題— (MA)

第25問 あなたが投票するにあたって、重視した課題はどれでしょうか。次の中から、あてはまるものをいくつか選んで○をつけてください。

	2016年(参)
1. 財政再建の取り組み	24.9
2. 景気・雇用対策	33.5
3. 消費税を含む税制改革	24.1
4. 経済格差の問題	12.5
5. 年金や医療などの社会保障政策	41.2
6. 子育て支援や少子化対策	20.3
7. 原子力発電などのエネルギー政策	17.8
8. 外交・安全保障政策	18.5
9. 憲法改正問題	15.8
10. 農業・畜産政策	7.0
11. 政治とカネの問題	23.0
12. 奨学金などの教育政策	7.2
13. 震災復興の取り組み	14.1
14. 国の事業見直しなどの行政改革	11.8
15. 地球温暖化対策	11.1
16. その他	0.8
17. 特になし	5.3
18. 投票には行かなかった	26.4
19. 選挙権がなかった	0.1
20. 無回答	0.3

—公約を参考にしたか—

第26問 参議院選挙で政党はそれぞれ公約をにかけていましたが、投票にあたって、その公約をどの程度参考にしましたか。次の中から1つだけ○をつけてください。

	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)	
1. 大いに参考にした	7.0	8.2	7.2	6.5	
2. ある程度参考にした	36.8	< 43.0	> 38.4	40.4	△
3. あまり参考にしなかった	25.6	> 20.5	20.1	21.3	▽
4. まったく参考にしなかった	8.1	> 4.6	4.5	4.9	▽
5. 投票には行かなかった	20.6	22.7	< 29.3	> 26.4	△
6. 選挙権がなかった	0.6	> 0.1	0.0	0.1	▽
7. 無回答	1.3	0.9	0.5	0.5	▽
1. (大いに、ある程度) 参考にした	43.8	< 51.2	> 45.6	46.9	△
2. (あまり、まったく) 参考にしなかった	33.7	> 25.1	24.6	26.2	▽
3. 棄権など	21.1	22.8	< 29.3	> 26.4	△
4. 無回答	1.3	0.9	0.5	0.5	▽

一役に立った選挙情報— (MA)

第27問 こんどの参議院選挙で、政治情勢や政党、候補者などについて、さまざまな情報を得たと思いますが、あなたが役に立ったと思うのはどれでしょうか。次の中から、いくつでもお答えください。

2016年(参)

1. 選挙公報	24.4
2. テレビ・ラジオの政見・経歴放送	28.3
3. テレビ・ラジオのニュースや番組	52.4
4. 新聞の報道	38.6
5. インターネットのニュース	20.7
6. SNS やブログなどの投稿	4.3
7. 週刊誌や月刊誌の記事	2.4
8. 街頭演説会	10.5
9. 選挙の集まり	2.9
10. 選挙用のポスター	8.7
11. 知り合いの話	9.4
12. はがきや手紙、電話による投票の依頼	2.5
13. その他	0.2
14. 役に立ったものはない	9.8
15. 無回答	1.0

一選挙について学校で学んだこと— (MA)

第28問 選挙について、あなたは高校までの学校でどのようなことを学びましたか。次の中から、あてはまるものをいくつでも選んで○をつけてください。

2016年(参)

1. 国会や選挙制度の仕組み	53.6
2. 投票の仕方	12.9
3. 選挙の大切さ	30.7
4. 模擬投票	2.0
5. 身近な課題について議論	5.1
6. 政治課題について議論	4.8
7. 政治課題についての政党の考え	4.3
8. その他	0.4
9. どのようなことを学んだか覚えていない	24.3
10. 選挙について学ばなかった	12.4
11. 無回答	1.5

—18歳・19歳選挙権への評価—

第29問 あなたは、18歳・19歳も投票できるようになったことを、どう思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

2016年(参)

1. とても良いことだ	24.1
2. まあ良いことだ	51.2
3. あまり良いことではない	20.0
4. まったく良いことではない	4.1
5. 無回答	0.5
1. (とても、まあ) 良いことだ	75.3
2. (あまり、まったく) 良いことではない	24.1
3. 無回答	0.5

—「合区」への評価—

第30問 今回の参議院選挙では島根県と鳥取県、徳島県と高知県の選挙区が統合されました。「合区」についてどう思いますか。あなたのお考えに近い方に○をつけてください。

2016年(参)

1. 人口が少ない選挙区が合区されるのは仕方ない	51.7
2. 全国で一部の県だけ、県の代表者がいなくなるのは不公平だ	44.0
3. その他	1.8
4. 無回答	2.5

—憲法改正の是非—

第31問 話はわかりますが、あなたは、今の憲法を改正する必要があると思いますか。それとも改正する必要はないと思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)
1. 改正する必要がある	64.7	> 55.7	52.7
2. 改正する必要はない	32.5	< 42.9	45.7
3. 無回答	2.8	> 1.3	1.6

—憲法改正の肯定理由— (該当者分母)

第32問 【第31問で「1」の方に】

「改正する必要がある」のは、どういう理由からでしょうか。あなたのお考えに最もあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

	2016年(参)
1. アメリカに押しつけられた憲法だから	9.2
2. プライバシーの権利や環境権など、新たな権利を盛り込むべきだから	13.6
3. 首相公選制や一院制など、統治機構を改革すべきだから	4.9
4. 国の自衛権や自衛隊の存在を明確にすべきだから	18.0
5. 日本を取りまく安全保障環境の変化に対応するため必要だから	44.8
6. 国連の集団安全保障に参加するなど、国際社会での役割を果たすために必要だから	3.4
7. その他	5.5
8. 無回答	0.7

該当者=913人

—憲法改正の否定理由— (該当者分母)

第33問 【第31問で「2」の方に】

「改正する必要はない」のは、どういう理由からでしょうか。あなたのお考えに最もあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

	2016年(参)
1. 今の憲法がいい憲法だと思うから	9.9
2. 多少問題はあがるが、改正するほどのことはないから	30.6
3. 戦争の放棄を定めた憲法9条を守りたいから	49.6
4. 憲法の解釈や運用に幅を持たせればよいから	5.3
5. アジア各国などとの国際関係を損なうから	1.1
6. その他	2.4
7. 無回答	1.1

該当者=791人

—9条改正の是非—

第34問 あなたは、いわゆる「戦争の放棄」を定めた憲法第9条を改正する必要があると思いますか。それとも改正する必要はないと思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)
1. 改正する必要がある	37.4	> 27.1	29.7
2. 改正する必要はない	59.9	< 71.2	> 68.3
3. 無回答	2.7	> 1.7	2.0

—9条改正の肯定理由— (該当者分母)

第35問 【第34問で「1」の方に】

「改正する必要がある」のは、どういう理由からでしょうか。あなたのお考えに最もあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

	2013年(参)	2016年(参)
1. 自衛力を持つことを憲法にはっきりと書くべきだから	70.8	70.2
2. 国連を中心とする軍事活動にも参加できるようにすべきだから	15.0	14.8
3. 海外で武力行使ができるようにすべきだから	5.3	5.6
4. 自衛隊も含めた軍事力を放棄することを明確にすべきだから	6.0	6.4
5. その他	2.5	1.8
6. 無回答	0.3	1.2

該当者=713人 514人

—9条改正の否定理由— (該当者分母)

第36問 【第34問で「2」の方に】

「改正する必要はない」のは、どういう理由からでしょうか。あなたのお考えに最もあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

	2013年(参)	2016年(参)
1. 海外での武力行使の歯止めがなくなるから	17.6	< 22.2
2. アジア各国などとの国際関係を損なうから	5.5	> 3.7
3. 平和憲法としての最も大事な条文だから	63.3	> 59.4
4. 改正しなくても、憲法解釈の変更で対応できるから	10.6	11.7

5. その他	0.9	1.5
6. 無回答	2.2	1.4
	該当者 = 1,870 人	1,183 人

—日本の安全を守る方策—

第37問 あなたは、これから日本の安全を守っていくうえで、どのような方法が一番よいと思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)
1. ある程度の防衛力を持って、アメリカとの協力関係を続けていく	49.4	> 43.9	46.2
2. 国連に協力して国際的な安全保障体制を築いていく	39.7	< 43.6	> 37.2
3. 日本独自の防衛力だけで、外国からの侵略に備えていく	4.4	4.7	< 7.1
4. いっさいの防衛力を持たないで、中立を保っていく	4.2	4.5	< 6.1
5. その他	0.8	< 1.6	1.0
6. 無回答	1.6	1.8	2.3

—社会保障の財源について— (MA)

第38問 日本は今後、高齢化がさらに進展することが見込まれ、高齢者に対する社会保障給付を中心として、国民の負担がますます増えると考えられます。社会保障の財源について、あなたはどのようにすべきだと思いますか。あてはまると思うものをいくつでも○をつけてください。

	2016年(参)
1. 社会保障費自体を削減する	13.3
2. 他の事業を見直し、財源を捻出する	68.2
3. 国債を発行する	4.0
4. 社会保障の自己負担を増やす	13.0
5. 税制を見直し、課税を強化する	20.7
6. その他	4.3
7. この中にあてはまるものはない	7.6
8. 無回答	1.8

—原発をどうすべきか—

第39問 あなたは、原子力発電所を今後どうすべきだと思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)
1. 増やすべきだ	2.2	1.6	< 2.5
2. 現状を維持すべきだ	28.8	27.2	< 32.5
3. 減らすべきだ	43.4	41.1	38.7
4. すべて廃止すべきだ	24.6	< 29.0	> 25.3
5. 無回答	1.0	1.1	0.9

—消費増税への賛否—

第40問 安倍総理大臣は、来年4月に予定されていた消費税率10%への引き上げを、平成31年10月まで2年半、再延期しました。次のことについて、あなたが最もあてはまると思うものを選んでください。

A. まず、再延期したことについてはいかがですか。

	2016年(参)
1. 賛成	35.1
2. どちらかといえば賛成	45.2
3. どちらかといえば反対	13.7
4. 反対	5.5
5. 無回答	0.4
1. 賛成 (「どちらかといえば」を含む)	80.3
2. 反対 (「どちらかといえば」を含む)	19.3
3. 無回答	0.4

B. では、消費税を引き上げることにいかがですか。

	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)
1. 賛成	5.5	5.9	< 9.2
2. どちらかといえば賛成	32.2	32.3	33.8
3. どちらかといえば反対	39.1	39.2	> 35.2
4. 反対	22.7	21.9	21.2
5. 無回答	0.5	0.6	0.6
1. 賛成 (「どちらかといえば」を含む)	37.7	38.3	< 43.0
2. 反対 (「どちらかといえば」を含む)	61.8	61.1	> 56.4
3. 無回答	0.5	0.6	0.6

—経済政策の評価—

第41問 安倍総理大臣の経済政策を評価しますか。それとも評価しませんか。次の中から1つだけ○をつけてください。

	2013年(参)	2016年(参)
1. 大いに評価する	5.2	> 3.6
2. ある程度評価する	55.7	> 52.4
3. あまり評価しない	29.7	< 34.1
4. まったく評価しない	8.5	9.3
5. 無回答	0.9	0.6
1. (大いに, ある程度) 評価する	60.9	> 55.9
2. (あまり, まったく) 評価しない	38.2	< 43.4
3. 無回答	0.9	0.6

—政党個別評価— (MA)

第42問 自民党, 民進党それぞれの政党について, あなたがあてはまると思うものをいくつでも選んでください。

A. まず, 「自民党」についてはいかがですか。

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)
1. 人材が豊かである	16.4	< 18.6	< 40.9	> 33.2	32.7 < △
2. 党首にリーダーシップがある	4.0	5.0 <	< 30.8	33.1 >	28.5 < △
3. 長期的な視野に立った政策を掲げている	9.1	< 11.2	< 16.7	16.2	15.6 < △
4. 国民の立場に立った政策を掲げている	4.9	< 6.4	< 9.6	> 7.9	7.4 <
5. 政策を公約どおりに実現できる	2.3	< 3.4	< 5.8	5.7 >	3.9 <
6. 政治倫理の面で信頼できる	4.6	< 6.1	< 8.0	7.7 >	5.0
7. 危機に適切に対応できる	7.6	< 10.0	< 17.4	> 12.9	< 15.4 < △
8. 外国と信頼関係を築いていける	17.3	< 20.3	< 34.9	> 24.5	25.7 < △
9. 既得権益にとらわれない政治判断ができる	1.5	1.8	2.3	2.4	1.6
10. 政権を安心して任せられる	4.6	5.1 <	< 11.4	12.1	12.1 < △
11. この中であてはまるものはない	60.3	> 53.4	> 27.6	< 32.0	32.9 > ▽
12. 無回答	1.7	2.4	2.1	1.7	2.3

B. では, 「民進党」についてはいかがですか。(過去4回は「民主党」)

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)
1. 人材が豊かである	18.1	< 20.3	> 3.9	3.8 <	6.7 > ▽
2. 党首にリーダーシップがある	8.6	> 4.7	> 2.4	> 1.2 <	2.1 > ▽
3. 長期的な視野に立った政策を掲げている	13.1	> 10.3	> 4.0	> 2.4 <	4.4 > ▽
4. 国民の立場に立った政策を掲げている	42.4	> 28.3	> 13.8	> 11.0 <	13.9 > ▽
5. 政策を公約どおりに実現できる	4.4	> 2.1	> 0.9	0.7 <	1.3 >
6. 政治倫理の面で信頼できる	9.4	9.2 >	> 5.3	> 4.1	5.1 > ▽
7. 危機に適切に対応できる	2.9	> 2.0	> 1.1	0.8	1.4 >
8. 外国と信頼関係を築いていける	5.0	> 3.6	> 1.5	1.4	1.4 > ▽
9. 既得権益にとらわれない政治判断ができる	24.5	> 15.5	> 8.3	> 4.8	5.9 > ▽
10. 政権を安心して任せられる	3.2	> 2.2	> 1.0	1.0	1.3 > ▽
11. この中であてはまるものはない	34.5	< 47.4	< 69.4	< 74.4	> 66.9 < △
12. 無回答	1.0	< 1.9	< 3.4	3.5	3.6 < △

一政党支持強度一

第43問 あなたは、次の政党について、どのようにお考えになりますか。A～Fのそれぞれについて、1つだけ○をつけてください。

		1. 強く支持する	2. 一応支持する	3. どちらでもない	4. あまり支持しない	5. 絶対支持しない	6. 無回答	1. 支持する (強く一応)	2. どちらでもない	3. 支持しない (あまり、絶対)	4. 無回答
		(%)									
A. 自民党	2009年(衆)	4.9	25.1	33.8 ^	23.9 v	10.9 v	1.4	30.0 ^	33.8 ^	34.8 v	1.4
	2010年(参)	5.5 ^	27.3 ^	37.2 v	19.1 v	8.9 v	2.0	32.8 ^	37.2 v	28.0 v	2.0
	2012年(衆)	12.2	47.0	26.0	9.1	4.0	1.8	59.2 v	26.0	13.0 ^	1.8
	2013年(参)	11.5 v	44.7	25.1	12.4 ^	5.1	1.2	56.2	25.1	17.5 ^	1.2
	2016年(参)	8.8 ^ △	44.6 ^ △	26.8 v ▽	12.2 v ▽	5.7 v ▽	1.9	53.3 ^ △	26.8 v ▽	17.9 v ▽	1.9
B. 民進党 (過去4回は民主党)	2009年(衆)	10.5 v	44.5 v	25.7 ^	12.6 ^	5.5 ^	1.2	55.0 v	25.7 ^	18.1 ^	1.2
	2010年(参)	6.7 v	36.6 v	30.6 ^	16.5 ^	7.9 ^	1.7	43.3 v	30.6 ^	24.4 ^	1.7
	2012年(衆)	1.1	13.1	38.1 v	28.1 ^	16.8 ^	2.8	14.1 v	38.1 v	45.0 ^	2.8
	2013年(参)	0.9	11.5	35.2 v	30.1 v	20.3 ^	2.0	12.4 v	35.2 ^	50.4 ^	2.0
	2016年(参)	1.4 v ▽	16.2 v ▽	41.6 ^ △	24.4 ^ △	13.0 ^ △	3.3	17.7 v ▽	41.6 ^ △	37.5 ^ △	3.3
C. 公明党	2009年(衆)	3.2	7.8	30.5	26.0	30.4	2.2	10.9	30.5	56.4	2.2
	2010年(参)	2.9	8.3 ^	30.9 ^	26.8 v	28.7 v	2.5	11.2 ^	30.9 ^	55.4 v	2.5
	2012年(衆)	3.3	11.5	36.7	24.3	21.4	2.8	14.8	36.7	45.7	2.8
	2013年(参)	2.9	11.6	37.7	25.0	20.9	1.9	14.5	37.7	45.9	1.9
	2016年(参)	2.9 ^ △	13.8 ^ △	39.1 ^ △	22.5 v ▽	18.3 v ▽	3.4	16.7 ^ △	39.1 ^ △	40.8 v ▽	3.4
D. 共産党	2009年(衆)	1.5	8.0 v	31.3	26.1	31.1	2.0	9.5	31.3	57.2	2.0
	2010年(参)	1.7	6.4	30.3	26.8	32.1	2.7	8.1	30.3	58.9	2.7
	2012年(衆)	1.6	5.6 ^	32.2	27.8	29.8	3.0	7.2 ^	32.2	57.6 v	3.0
	2013年(参)	1.5	8.1	34.7	26.3	27.4	2.1	9.6	34.7	53.7 v	2.1
	2016年(参)	1.2	8.0 ^ △	36.8 ^ △	25.5 v ▽	24.8 v ▽	3.7	9.2 ^ △	36.8 ^ △	50.3 v ▽	3.7
E. 日本維新の会	2012年(衆)	5.0 v	24.1 v	39.8	18.2 ^	10.0 ^	2.9	29.1 v	39.8	28.2 ^	2.9
	2013年(参)	2.9 v	14.3	41.2	25.4	13.9	2.3	17.2 v	41.2	39.3 v	2.3
	2016年(参)	1.9	12.9	45.7	23.9	12.0	3.7	14.8	45.7	35.9	3.7
F. 生活の党	2012年(衆)	0.5	2.7 ^	38.5	31.0	23.7 ^	3.6	3.2	38.5 v	54.7 ^	3.6
	2013年(参)	0.3 ^	3.7	35.3	31.8	26.9 v	2.1	4.0	35.3 ^	58.7 v	2.1
	2016年(参)	0.7	3.9	41.5	31.3	18.8	3.9	4.6	41.5	50.1	3.9

—ふだんの支持政党—

第44問 ふだん、あなたは何党を支持していますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)			
1. 自民党	26.1	25.9	<	37.9	38.9	41.1	<	△
2. 民進党	—	—	—	—	—	10.3		
民主党	28.9	27.9	>	8.3	8.1	—		
3. 公明党	4.7	5.0		4.4	4.6	5.2		
4. 共産党	2.1	2.7		3.2	3.3	3.1	<	
5. 日本維新の会	—	—		6.5	>	5.1		4.0
6. 生活の党	—	—		0.6	0.9	0.5		
7. 社民党	1.7	>	0.7	0.9	1.2	0.8	>	
8. 日本のことを大切にする党	—	—	—	—	—	0.2		
9. その他の政治団体	1.8	5.7	4.4	2.9	0.2			
10. 特に支持している政党はない	34.0	>	31.3	33.2	34.3	34.1		
11. 無回答	0.6	0.9	0.7	0.6	0.6			

2009年(衆) 9.「その他」には、「国民新党0.2」「改革クラブ0.0」「新党日本0.1」「みんなの党1.3」が含まれる  
 2010年(参) 9.「その他」には、「たちあがれ日本0.4」「国民新党0.2」「新党改革0.4」「みんなの党4.3」が含まれる  
 2012年(衆) 9.「その他」には、「みどりの風0.0」「新党改革0.1」「みんなの党4.1」が含まれる  
 2013年(参) 9.「その他」には、「みんなの党2.6」が含まれる  
 「その他」については検定していない

—いまの支持政党—

第45問 それでは、いま、あなたは何党を支持していますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)			
1. 自民党	18.8	20.3	<	41.1	41.1	40.3	<	△
2. 民進党	—	—	—	—	—	9.8		
民主党	40.6	>	31.1	>	5.7	5.5		
3. 公明党	4.4	4.8	4.1	4.1	5.0			
4. 共産党	1.9	2.4	2.8	3.6	3.1	<		
5. 日本維新の会	—	—	8.1	>	4.8	4.1		
6. 生活の党	—	—	0.6	0.7	0.6			
7. 社民党	1.1	>	0.6	0.7	0.8	0.6		
8. 日本のことを大切にする党	—	—	—	—	—	0.2		
9. その他の政治団体	2.1	8.1	4.2	2.8	0.1			
10. 特に支持している政党はない	30.4	31.9	31.7	<	36.1	35.6	<	△
11. 無回答	0.7	0.9	0.9	0.5	0.6			

2009年(衆) 9.「その他」には、「国民新党0.2」「改革クラブ0.0」「新党日本0.0」「みんなの党1.6」が含まれる  
 2010年(参) 9.「その他」には、「たちあがれ日本0.6」「国民新党0.4」「新党改革0.6」「みんなの党6.4」が含まれる  
 2012年(衆) 9.「その他」には、「みどりの風0.0」「新党改革0.1」「みんなの党3.9」が含まれる  
 2013年(参) 9.「その他」には、「みんなの党2.4」が含まれる  
 「その他」については検定していない

—支持政党がない理由— (該当者分母)

第46問 【第45問で「10」の方に】

いま、支持する政党がないのは、どういう理由からでしょうか。あなたのお考えに最もあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

	2016年(参)
1. 政治には関心がないから	8.4
2. 政治のことはむずかしいから	3.7
3. 政党について詳しく知らないから	13.1
4. 信頼できる政党がないから	31.8
5. 政党の特徴がはっきりしないから	6.0
6. 自分の気持ちに合った政党がないから	6.7
7. 特定の政党を支持しても、政治が変わりそうもないから	20.5
8. 支持する政党を持ちたくないから	6.7
9. その他	2.8
10. 無回答	0.3

該当者=616人

— “改憲勢力” 3分の2確保への評価—

第47問 今回の参議院選挙の結果、衆議院・参議院とも憲法改正に前向きな勢力が3分の2となり、憲法改正の発議が可能になった状況について、あなたはどのように思いますか。あなたのお考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

2016年(参)

- |                   |      |
|-------------------|------|
| 1. 望ましい           | 15.1 |
| 2. どちらかといえば望ましい   | 35.7 |
| 3. どちらかといえば望ましくない | 31.9 |
| 4. 望ましくない         | 15.3 |
| 5. 無回答            | 2.0  |
- 
- |                          |      |
|--------------------------|------|
| 1. 望ましい(「どちらかといえば」を含む)   | 50.8 |
| 2. 望ましくない(「どちらかといえば」を含む) | 47.2 |
| 3. 無回答                   | 2.0  |

— 衆院選で“野党共闘”への期待—

第48問 参議院選挙では、民進党、共産党、生活の党、社民党の4党が1人区で候補者を一本化して野党共闘で選挙に臨みました。あなたは、衆議院選挙でも野党が共闘することを望みますか。それとも、望みませんか。次の中から1つだけ○をつけてください。

2016年(参)

- |              |      |
|--------------|------|
| 1. 野党共闘を望む   | 18.6 |
| 2. 野党共闘を望まない | 26.0 |
| 3. どちらともいえない | 54.2 |
| 4. 無回答       | 1.1  |

— 政界再編の期待—

第49問 これまで、政党が分裂したり、新しい政党が結成されるなど政界が再編されてきましたが、あなたは、今後も政界が再編されることを望みますか。それとも、望みませんか。次の中から1つだけ○をつけてください。

2010年(参) 2012年(衆) 2013年(参) 2016年(参)

- |              |      |   |      |   |      |   |      |   |
|--------------|------|---|------|---|------|---|------|---|
| 1. 望む        | 24.1 | > | 17.2 | < | 22.6 | > | 18.1 | ▽ |
| 2. 望まない      | 34.5 | < | 42.1 | > | 32.7 | > | 25.9 | ▽ |
| 3. どちらともいえない | 40.3 |   | 39.7 | < | 43.9 | < | 55.0 | △ |
| 4. 無回答       | 1.0  |   | 1.0  |   | 0.8  |   | 0.9  |   |

— 日本の政党のあり方—

第50問 日本の政党のあり方として、どのような形がよいと思いますか。あなたのお考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

2010年(参) 2012年(衆) 2013年(参) 2016年(参)

- |                 |      |   |      |   |      |   |      |   |
|-----------------|------|---|------|---|------|---|------|---|
| 1. 1つの大政党       | 9.1  |   | 7.7  |   | 7.9  |   | 6.6  | ▽ |
| 2. 政策に近い2大政党    | 33.0 |   | 32.7 | > | 29.0 |   | 27.0 | ▽ |
| 3. 政策に差がある2大政党  | 27.9 | < | 32.3 |   | 33.7 |   | 34.3 | △ |
| 4. 政策に近い多数の政党   | 14.4 | > | 11.2 |   | 11.6 | > | 9.7  | ▽ |
| 5. 政策に差がある多数の政党 | 9.5  |   | 10.2 |   | 11.8 | < | 16.1 | △ |
| 6. その他          | 1.7  |   | 1.9  |   | 2.5  |   | 1.7  |   |
| 7. 無回答          | 4.4  |   | 4.0  |   | 3.5  |   | 4.6  |   |
- 
- |            |      |   |      |  |      |  |      |   |
|------------|------|---|------|--|------|--|------|---|
| 1. 1つの大政党  | 9.1  |   | 7.7  |  | 7.9  |  | 6.6  | ▽ |
| 2. 2大政党    | 60.9 | < | 64.9 |  | 62.7 |  | 61.3 |   |
| 3. 多数の政党   | 23.9 | > | 21.4 |  | 23.4 |  | 25.8 |   |
| 4. その他、無回答 | 6.1  |   | 5.9  |  | 6.0  |  | 6.4  |   |

— 自己の政治的立場—

第51問 あなたの政治的立場はどれだと思えますか。あなたのお考えに最も近いものに1つだけ○をつけてください。

2010年(参) 2012年(衆) 2013年(参) 2016年(参)

- |                |      |   |      |   |      |   |      |   |
|----------------|------|---|------|---|------|---|------|---|
| 1. 保守的         | 12.7 |   | 14.3 |   | 14.4 |   | 14.3 |   |
| 2. どちらかといえば保守的 | 47.0 | < | 51.1 |   | 53.2 |   | 56.2 | △ |
| 3. どちらかといえば革新的 | 32.3 | > | 28.8 | > | 26.3 | > | 23.2 | ▽ |
| 4. 革新的         | 5.5  | > | 3.3  |   | 3.5  |   | 3.5  | ▽ |
| 5. 無回答         | 2.5  |   | 2.5  |   | 2.6  |   | 2.8  |   |
- 
- |                       |      |   |      |  |      |   |      |   |
|-----------------------|------|---|------|--|------|---|------|---|
| 1. 保守的(「どちらかといえば」を含む) | 59.7 | < | 65.4 |  | 67.6 | < | 70.5 | △ |
| 2. 革新的(「どちらかといえば」を含む) | 37.8 | > | 32.1 |  | 29.8 | > | 26.7 | ▽ |
| 3. 無回答                | 2.5  |   | 2.5  |  | 2.6  |   | 2.8  |   |

—社会への信頼感—

第52問 あなたは日ごろの生活の中で、次の点についてどのように感じていますか。A～Eのそれぞれについて、1つだけ○をつけてください。

		1. 非常にそう感じる	2. まあまあそう感じる	3. そう感じない あまり	4. そう感じない まったく	5. 無回答	1. その感じる (非常に、まあ)	2. その感じない (あまり、まったく)	3. 無回答
		(%)							
A. 自分の能力や努力に ほぼ見合った環境にいる	2009年(衆)	5.0	60.2	29.9	3.8	1.1	65.2	33.7	1.1
	2010年(参)	5.0	60.9	28.4	4.4	1.3	65.9	32.8	1.3
	2012年(衆)	5.5	62.0	26.9	4.1	1.5	67.5	31.0	1.5
	2016年(参)	5.6	63.6 △	25.5 ▽	3.8	1.5	69.2 △	29.3 ▽	1.5
B. 将来に対して希望や期待を持てる	2009年(衆)	2.6	30.5	56.0	9.9	1.0	33.1	65.9	1.0
	2010年(参)	2.6	30.1	54.8	11.1	1.4	32.6	65.9	1.4
	2012年(衆)	2.4	31.3	53.8	10.6	1.8	33.7	64.5	1.8
	2016年(参)	2.9	33.2 △	50.5 ▽	11.4	2.0 △	36.1 △	61.9 ▽	2.0 △
C. こんなことをやってみよう、 といった大きな望みをもって がんばる気になる	2016年(参)	4.6	34.4	49.6	9.5	1.9	39.0	59.1	1.9
D. 努力をすれば、社会的に 認められる	2009年(衆)	4.7	43.6	42.2	8.2	1.3	48.3	50.4	1.3
	2010年(参)	5.0	42.9	41.0	9.5	1.7	47.9	50.5	1.7
	2012年(衆)	5.2	44.7	38.9	9.1	2.1	49.9	48.0	2.1
	2016年(参)	5.8	45.6	37.1 ▽	9.7	1.9	51.3 △	46.8 ▽	1.9
E. 不安や心配がなく、 毎日の生活が送れる	2009年(衆)	2.3	32.9	49.4	14.2 △	1.1	35.3	63.6	1.1
	2010年(参)	2.5	33.3 △	46.8	16.4 ▽	1.0	35.8 △	63.1 ▽	1.0
	2012年(衆)	2.3	36.8	45.5	13.9	1.5	39.1	59.4	1.5
	2016年(参)	3.1	38.1 △	44.2 ▽	13.1	1.6	41.2 △	57.3 ▽	1.6

※A～E：2013(参)では、この質問は実施していない。

第53問 性別 (サンプル構成比参照)

第54問 生年 (省略)

第55問 職業 (サンプル構成比参照)

第56問 雇用形態 (省略)

—学歴—

第57問 あなたが最後に卒業された学校を、次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

(在学中の方は、「5. 在学中」に○をつけてください)

	2009年(衆)	2010年(参)	2012年(衆)	2013年(参)	2016年(参)		
1. 中学校(旧制小学校、高等小学校) ……………	15.8	16.7	> 14.5	14.9	13.4	>	▽
2. 高等学校(旧制中学校、女学校) ……………	40.8	42.1	40.1	40.5	40.0		
3. 高等専門学校・短期大学(旧制高等学校) ……………	18.7	18.3	20.1	19.3	18.6		
4. 大学・大学院 ……………	20.2	19.6	20.8	22.2	23.3	<	△
5. 在学中 ……………	2.0	1.5	2.0	1.4	4.0	<	△
6. その他 ……………	1.9	1.4	1.3	0.9	0.2	>	▽
7. 無回答 ……………	0.5	0.4	< 1.1	0.8	0.6		

—固定・携帯電話の所有—

第58問 あなたの自宅には固定電話はありますか。また、あなたは携帯電話（スマートフォン、PHSを含む）を持っていますか。  
次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

2016年(参)

- 1. 固定電話と携帯電話の両方を持っている ..... 76.6
- 2. 固定電話はあるが、携帯電話は持っていない ..... 8.7
- 3. 固定電話はないが、携帯電話は持っている ..... 13.9
- 4. どちらも持っていない ..... 0.5
- 5. その他 ..... 0.1
- 6. 無回答 ..... 0.3

—幸福感—

第59問 あなたは今、幸せですか。それともそうは思いませんか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

2012年(衆) 2013年(参) 2016年(参)

- 1. とても幸せである ..... 12.8      11.5 < 14.4
- 2. まあ幸せである ..... 70.8 < 73.6      71.2
- 3. あまり幸せではない ..... 13.7      12.3      11.8
- 4. まったく幸せではない ..... 2.1      1.8      2.4
- 5. 無回答 ..... 0.6      0.8 > 0.3
  
- 1. (とても、まあ) 幸せである ..... 83.6      85.1      85.6
- 2. (あまり、まったく) 幸せではない ..... 15.8      14.1      14.1
- 3. 無回答 ..... 0.6      0.8 > 0.3

サンプル構成 [2016年(参)]

● サンプル構成比

全体	性		年層						
	男性	女性	18-29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
1,732人	858	874	238	231	277	265	356	365	
100.0%	49.5	50.5	13.7	13.3	16.0	15.3	20.6	21.1	

全体	男の年層						女の年層					
	18-29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	18-29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
1,732人	129	103	129	132	188	177	109	128	148	133	168	188
100.0%	7.4	5.9	7.4	7.6	10.9	10.2	6.3	7.4	8.5	7.7	9.7	10.9

全体	職業										
	農林漁業者	自営業者	販売・サービス職	技能・作業職	事務・技術職	経営者・管理者	専門職・自由業その他	主婦	学生	無職	無回答
1,732人	39	141	191	210	315	67	40	332	66	317	14
100.0%	2.3	8.1	11.0	12.1	18.2	3.9	2.3	19.2	3.8	18.3	0.8

全体	都市規模				
	特別区と人口100万以上の市	人口30万以上の市	人口10万以上の市	人口5万以上の市町村	人口5万未満の市町村
1,732人	331	420	407	279	295
100.0%	19.1	24.2	23.5	16.1	17.0

● 有効率

	全体	性		年層						
		男性	女性	18-29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	
指定サンプル	2,400人	1,212	1,188	361	340	406	362	447	484	
有効サンプル	1,732人	858	874	238	231	277	265	356	365	
有効率	72.2%	70.8	73.6	65.9	67.9	68.2	73.2	79.6	75.4	

	全体	男の年層						女の年層					
		18-29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	18-29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上
指定サンプル	2,400人	194	169	197	190	237	225	167	171	209	172	210	259
有効サンプル	1,732人	129	103	129	132	188	177	109	128	148	133	168	188
有効率	72.2%	66.5	60.9	65.5	69.5	79.3	78.7	65.3	74.9	70.8	77.3	80.0	72.6

	全体	都市規模				
		特別区と人口100万以上の市	人口30万以上の市	人口10万以上の市	人口5万以上の市町村	人口5万未満の市町村
指定サンプル	2,400人	540	576	552	360	372
有効サンプル	1,732人	331	420	407	279	295
有効率	72.2%	61.3	72.9	73.7	77.5	79.3

● 不能理由

全体	不能合計	場所不明	転居	1年以上不在	10日以上不在	10日未満不在	留め置き不可能	自宅療養	拒否	その他	死亡	受け取り不可能	紛失・汚損	対象違い
2,400人	668	26	88	12	41	9	9	27	255	5	4	171	3	18
100.0%	27.8	1.1	3.7	0.5	1.7	0.4	0.4	1.1	10.6	0.2	0.2	7.1	0.1	0.8